Multi LABELIST V5 練習マニュアル 一機能別解説編一 第11版

株式会社サトー

2020年9月23日

ご注意

- 本マニュアルの一部または全部を弊社の許可なく複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。
- 本マニュアルの内容は、訂正・改善のため予告なく変更することがあります。
- 本マニュアルを運用した結果の影響については責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 本マニュアルの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- SATO、Multi LABELIST は、サトーホールディングス株式会社の登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

目次

ご注	注意	2
1:	: 税計算機能を使ってみよう	5
1	 税計算機能とは 	5
2	 税計算の種類と税金に対する処理 	5
	■税編集の種類	5
	■税金に対する端数処理	5
	■税率の指定方法	5
I	■消費税編集例	6
3	• 税率設定方法	6
4	・税編集の設定	8
5	・編集・表示機能	9
I	■入力変数の桁数	11
2:	:GS1-128 を作成してみよう	
1	. GS1-128 作成機能とは	
2	・変数の作成	
I	■カスタム構成	14
I	■定型パターン構成	
3	. GS1-128 のレイアウト作成	
3 :	「履歴ファイル	
1	履歴ファイルとは	
2	履歴ファイルの保存先設定	
3	・履歴ファイルの作成	
4:	・ML コンバート	
1	. ML コンバートとは	
2	・ レイアウトの指定	
3	・オプション設定(プリンタ割付、デザイン設定)	
I	■プリンタ割付	
I	■デザイン設定	
4	コンバートを行う	
5	. コンバートを行う(コンテキストメニュー)	
5:	: 連番を判別値毎に保存してみよう	
1	 連番を判別値毎に保存するとは 	
2	・連番変数の設定	
3	· 連番保存値修正手順	
6:	オブジェクトの印字条件設定	
1	オブジェクトの印字条件設定とは	
2	 オブジェクトの印字条件設定に必要な事前設定 	
3	オブジェクト印字有無の条件設定	
4	. 印字確認	

1. 発行枚数計算機能とは	
2. 変数の作成	
 発行枚数計算の条件設定 	41
4. 発行枚数計算結果確認	
8:アドバンスモードを使ってみよう	
1. アドバンスモードとは	
2. アドバンスモードの設定方法	
3. アドバンスモードの機能	51
■デザインオブジェクト	51
■変数	
9:GS1 DataBar 及び GS1 合成シンボル印字機能	
1. GS1 DataBar 及び GS1 合成シンボル印字機能とは	
2. レイアウトの設計方法	
■GS1 DataBar 指定	
■GS1 合成シンボル指定	
3. 補足説明	
■GS1 合成シンボルでの FNC1 指定	
■GS1-128 Composite(CC-A/CC-B)及び(CC-C)のバー高さ指定	
■データに関する制限について	
■読み取り確認のお願い	
10:バイナリ情報設定機能(二次元コード)	
1. バイナリ情報設定機能とは	
2. レイアウトの設計方法	60
■結合変数で作成する	60
■固定変数で作成する	63
11: RFID 書込み機能を使ってみよう	
1. RFID 書込み機能とは	
2. ICタグの種類と容量	
3. RFIDに書込んでみよう	
4. その他の IC タグへの書込み	
12: 条件変数を使ってみよう	
1. 条件変数とは	
2. 条件変数の作成	
3.オブジェクトの作成	
4. 印字確認	
13:GS1 DataMatrix を使ってみよう	
1. GS1 DataMatrix とは	
2. 結合変数の作成	
■可変桁の末尾に FNC1 を設定する場合	
3. オブジェクトの作成	

1:税計算機能を使ってみよう

1. 税計算機能とは

入力した金額に対して税計算を行い、「税込み」「税引き」「外税」「内税」のいずれかの値 を出力できる機能です。

「内税」と「外税」は、価格に税が含まれているか否かで呼び方が変わります。 例えば、¥100という価格に税が含まれている場合¥7が税(内税)で¥93が本体価格という ことになります。逆に¥100に税が含まれていない場合、この本体価格に税率をかけた¥8が税 (外税)で¥108が税込価格となります。

※税率8%、1円未満を切り捨てと仮定した場合の例です。

2. 税計算の種類と税金に対する処理

■税編集の種類

税込み	:指定税率にて 外税 を求め、入力値に 加算 します。
税引き	:指定税率にて内税を求め、入力値から減算します。
外税金	:指定税率にて 外税 を求めます。
内税金	: 指定税率にて 内税 を求めます。

■税金に対する端数処理

単位

1円未満	:対象となる位を 1円未満 とします。
1円の位	:対象となる位を 1円の位 とします。
10円の位	:対象となる位を10円の位とします。
100円の位	:対象となる位を100円の位とします。
1000円の位	:対象となる位を1000円の位とします。

• 端数計算

切り捨て :	対象となる位に対して切り捨て処理を行います。
切り上げ :	対象となる位に対して切り上げ処理を行います。
四捨五入 :	対象となる位に対して四捨五入処理を行います。
五捨六入 :	対象となる位に対して五捨六入処理を行います。

※税編集で求めた結果に対する端数処理ではなく、税額に対する端数処理です。

■税率の指定方法

ユーザ税率	:ML メンテナンスで設定した税率を使用します。
固定値	:変数の編集画面で直接入力した値を税率とします。
変数値	:入力変数に指定した値を税率とします。

■消費税編集例

	税編集の設定	入力	税金	編集後 税金	最終的な出力
種類 端数 税率	: <u>外税金</u> : <u>1 円未満 切り捨て</u> : <u>8%</u>	19899	1591.92	1591	1591
種類 端数 税率	: <u>税込み</u> : <u>小数第2位の位 切り上げ</u> : <u>8%</u>	19899	1591.92	1591.92	21490.92
種類 端数 税率	: <u>内税金</u> : <u>1 円未満 四捨五入</u> : <u>10%</u>	2955	268.63	269	269
種類 端数 税率	: <u>税引き</u> : <u>10円の位 五捨六入</u> : <u>10%</u>	2955	268.63…	270	2655

3. 税率設定方法

まず初めにユーザ税率の設定を行います。

Windows スタートメニュー>すべてのプログラム>Multi LABELIST V5の

パスワードを聞いてきますので、「user」と入力してください。 画面上では「●」で表示されます。

「OK」ボタンを選択すると ML メンテナンスの画面が表示されます。

🛄 パスワードの確認
MLメンテナンスを起動します。 管理者パスワードを入力してください。
パスワード(P): ••••
OK キャンセル

こあるの	No.	表示名	税率(%)	発行時指定
	• 1		0 🌲	
「語設定	2		0 🌻	
プォルト設定	3		0 💂	
	4		0 📮	
兑率設定	5		0 📮	
2.1120000000000000000000000000000000000	6		0 🚊	
	7		0 📮	
监視設定 	8		0 🖕	
§準日付	9		0 🌲	
	10		0	
青報表示	11		0 📮	
	12		0 -	
イセンス認証	13		0 📮	
	14		0	
	15		0 -	
	16		0 -	
_	17		0 -	
	18		0 -	

「税率設定」を押して消費税率設定画面を表示します。

税率は 20 パターンまで登録できます。

表示名、税率を入力の上「OK」ボタンをクリックしてください。

计设定	No.	表示名	税率(%)	発行時指知
U EX LE	*	消費税 8%	8	÷
吾設定		消費税 10%	10	÷
オルト設定		3	0	*
		4	0	÷
率設定		5	0	* *
T履歴		5	0	*
		7	0	×
見設定		3	0	* *
1日付	9	9	0	*
	1)	0	*
服表示	1	1	0	-
	12	2	0	
センス認証	1.	3	0	
	14	-	0	
	1	5	0	▼
	1	5	0	T
	1	7	0	*
	1	3	0	-

これで税率の設定は完了です。

4. 税編集の設定

ML デザインよりレイアウト新規作成をし、ローカル変数追加を行います。 最初にローカル変数画面を表示させます。

変数設定画面の「入力」を指定し、「編集パラメータ」タブにある税編集項目を以下のように設定 します。

D. 変数設定							? ×
変数の設定を行います。							
入力	入力國	変数種	類: 文字 •	•			
固定	編集	パラメー	·9				
複写	10	序	編集内容	設定内容	設定詳細		
結合		1	テーブル変換	なし …			•
連番		2	改行削除 指定文字削除	なし マ なし マ			
日時		4	税編集	あり・	種類:税込み, 計算:[切り捨て,1円未満], 税率	:[標	
計算 条件 シンボル システム		5 6 7 8 9 10	カンマ編集 通貨編集 1文字補填 桁寄せ編集 置換 前ゼロ補填	 ✔ 税編集を行 種類: 税込み 計算 計算方法: 切り 単位: 1円 税率 (注書税 9%) 	〕(Ţ) ▼ IJ拾て ▼ ∃未満 ▼		
	対象 変数:	&文字 名: 4	:		DK キャンセル .::	桁数: OK	* 8 ÷

変数名、桁数を入力の上変数を登録し、レイアウト上に配置します。 変数で設定した税編集は、印刷結果に反映されます。

5. 編集·表示機能

ここでは、発行画面での表示の設定を行います。 「入力定義」タブで画面を切り替えます。

D	(レイアウト)* - SATO Mu	ilti LABELIST V5 Standard[MLデザ・	イン]	
= ファイル ホーム 入力定義				۵
 うたに戻す・ ※切り取り ※削除 でやり直し・ ()コピー 話い付け 編集 	← □			
☆オブジェクト 単 デザイン	入力定義 表形式		☆ プロパティ	th.
▶ 選択 本体师帮				3
A \$\ze{\$2}	^^^^ · · · · · · · · · · · · · · · · ·			*
- X-ジ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			● グリッドを表示する	
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★			グリッド間隔: , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
▲ 直線 ······			(ピクセル)	
四角形 No.	発行枚数		背景	
1	XXXXXXX		#FFD3D3D3	-
2	2		入力順位: 👥 自動設定	
未選択		進(100%) 100% 〇一〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	• 	
■ ローカル変数一覧			4	
	は 余素: 変数名の一部を入力 す 前除 は 余素: 変数名の一部を入力 ち ち ち ち ち ち ち ち	してください ミ ? ヘルプ		
変数名 区分	桁数 詳細			
▶ 🖉 本体価格 入力	8 入力種類:文字		*	
🎬 ローカル変数一覧 😫 ローカルテーブルー	覧 🗳 ローカルチェックテーブルー	覧 💷 ローカルグラフィック一覧	キャンバス キャンバスを設定します。	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				

「本体価格」項目をクリックし、右側の「基本設定」ウィンドウの「編集表示」設定を行います。

🖸 🔚 • 🗒 🤊 • 🥙 - =	(レイアウト)* - SATO Mult	LABELIST V5 Evaluation[MLデザイン	/] - 試用期限:2019/03/31	- 0	\times
またした ホーム 入力定義					â
 う 元に戻す 、	世面 順序 「↑へ ハッダへ 「 「 」 「 」 「 」 」 」 □	☆ 御小 画面サイズ			
編集	配置	ズーム			
深 オブジェクト 単 デザイン	ノ 入力定義 表形式			ชื่ 7 บิทิ⇒า	#
▶ 選択	····			入力項目	3
A 文字	XXXX B		: : : : : : : : : : : : : : : :	基本設定	*
11-11				項目名:本体価格	
				区分: ヘッダ 対象: ローカル変数	=
No.	発行枚数			入力項目	
直線	1 XXXXXX		^	項目名表示: 入力フィールドの上に表示	•
四角形	2 2			テーブル表示: なし	
▲ 三角形				編集表示・ たし	
○ 円 本体値	西格 8桁	┣ 標準(100%) 1009	% 🔿 🕀 📘		
			ą.		_
			0	入力桁数制限: なし	•
追加編集 挿入 切り取り コピー 貼り付け	前除 一括 検索: 変数名の一部	を入力してください 🔹 🖻	ヘルプ	フォント	
変数名 区分	桁数 詳細			メイリオ	•
▶ 🚚本体価格 入力	8 入力種類:5	(字	*	サイズ(pt): 9 -	
				▶ Ⅰ 및 ➡ ▲ 詳細設定	
10-カル変数一覧 😫 ローカルテーブル一覧	🗳 ローカルチェックテーブル 一覧 🗔 ロー	カルグラフィック一覧		入力項目 入力項目を設定します。	

「編集表示」画面が開くので、「編集表示を行う」を有効にします。

「編集設定」項目の「税編集」、「カンマ編集」「通貨編集」「桁寄せ編集」の設定を行います。

最初に編集表示の有無を選択します。編集表示を行う場合は、表示設定と編集設定を行います。
 ✓ 編集表示在行うに 表示設定 編集表示位置 ア クォント メ(リオ ナ ケ ア ア
表示設定 オリオ 「 人力フィールド内に表示する(F) ・ 上 ・ 上 ・ エ ・ エ ・ エ ・ エ ・ エ ・ 1
編集表示位置 フォント ● 上 上 ● 左 入力フィールド ● 方 下 ● 方 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
○ 左 入力7イルド ● 右 下 ● ブ U +++ 企 詳細設定 編集種別: 通貨カンマ桁寄せ編集 ● 指細設定 ● 順序 編集内容 設定内容 ● 1 税編集 ▲ 1 税編集 ▲ 1 税編集 ▲ 1 税編集
編集設定 編集種別:通貨カンマ桁寄せ編集 詳細設定 順序編集内容 設定内容 設定 1 税編集 本山 2 カンマ編集
編集種別: 通貨カンマ桁寄せ編集 → 詳細設定 ・ 1 税編集 <u>本山 ・ 種類・税込み 計算・(加以捨て1円未満) 税率</u> :[標 ・ 2 カンマ編集
順序編集内容 設定内容 設定詳細 1 税編集 あり 通知: 2 カンマ編集 カンマ編集
 ▲ 1 税編集 ▲ 加速(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
✓ 税編集を行う(Π)
3 通貨編集
4 桁奇で編集 1座規 10L公の
税率
消費税 8% ▼ 8.0
OK ++>セル:
OK キャンセル

集設定					
集種別:	通貨カンマ桁寄せ編集	•			
詳細設定					
11E INT	福年十四	14日本の	_	50.00 FX 400	
1	税編集	あり	-	種類:税込み,計算:[切り捨て,1円未満],税率:[標	
2	カンマ編集	半角	•		
3	通貨編集	あり	•	文字:¥, ゼロ空欄:無効	
4	桁寄せ編集	右	•		
5	前スペース編集	なし	-		
6	前ゼロ編集	なし	•		

設定が終わったら、レイアウトを保存して ML デザインを終了します。

ML プリントで、先ほど作成したレイアウトを開き、「本体価格」欄にデータ入力を行うと 編集設定をした値に表示が切り替わります。

■入力変数の桁数

編集表示を利用する場合、「¥」「,」も1桁として扱われるため、あらかじめ編集後の桁数を考慮して入力項目を作成する必要があります。

例として、本体価格「19800」を入力して、税込み価格「¥21,384」を表示するには、変数の 桁数を7桁以上に設定する必要があります。

📔 📄 = 🔚 💿 = 📄 =	・ マ 税編集(レイアウト) - SATO Multi	LABELIST V5 E	valuation[MLプリント] - 試用期!	艮:2019/03/31		—	\Box \times
	編集 表示								â
第二日本 1000 (1000) (▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲	→ 1000000000000000000000000000000000000	↓ ↓ ↓ 先頭 前) 次	末尾 ページ: 1 1	/1 発行動作	● ● ● 一 の 字 設 定 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	25 連番設定	
本体価格	¥21,384				🛄 基準日付				ŦХ
19800					基準日付:	2019/03,	/22		-
					🔓 印刷プレビュー				 т×
 ▼ 7ィルタ 〒 クリア ▼ (すべて) No. 発行枚数 ★ 	,			^					
	[] 標準((100%) 100% (∋	•	ページ:0/0	>> >	100%	; 0 – 0	+
◎ データー覧 📄 ログ出ナ	נ								
F1: ヘルプ F2: 開く	F3: 次を検 F4: 発行	F5: プレビュー	F6: データ	F7: ファイ	ル F8: 一覧入	F9: 次のペ F10):連番 F	11: 動作	F12: 終了

■編集結果の表示位置

編集結果を入力フィールド内ではなく、別項目に並べて表示したい場合は、ML デザインの「入力 定義」タブで編集表示画面を開き、「編集表示位置」の「入力フィールド内に表示する」を無効に してください。

 最初に編集表示の有無を選択します。編集表示を行う場合は、表示設定と編集設定を行 ★本体価格 ¥21,384 ¥21,384 ¥21,384 ¥21,384 ¥21,384 ¥1,384 ¥1,384 ¥1,384 ¥1,384 ¥1,384 ¥1,384 ¥1,384 	□ 編集表示			_
	最初に編集表示の有無を選択します。編集表示を行う場合は、表示語	本体価格		
表示設定 編集表示位置(P) フォント(E) □ 入力フィールド内に表示する メイリオ □ 上 サイズ(pt); □ 左 入力フィールド ● 下 B	▼ 編集表示を行う(E)	¥21,384		
編集表示位置(P) フォント(E) 入力フィールド内に表示する メイリオ 上 サイズ(pt): 下 日	表示設定			
 □ λカフィールド内に表示する ○ 上 ○ 左 入力フィールド ○ 下 ○ 下 ×イリオ サイズ(pt): 本体価格 19800 ¥21,384 	- 編集表示位置(P)	フォント(<u>E</u>)		
 ○上 ⇒ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	🔲 入力フィールド内に表示する	メイリオ		
● 左 入力フィールド ● 右 ● 下	◎上	サイズ(pt)	本体価格	
	 ○ 左 入力フィールド ◎ 右 ○ 下 	BI	19800	¥21,384

以上で「1:税計算機能を使ってみよう」は終了です。

2:GS1-128を作成してみよう

1. GS1-128 作成機能とは

「GS1-128」は商品管理、物流管理、業務管理等、企業間商取引システムの中で、様々な管理 データにアプリケーション識別子(AI)を付加した構成の CODE128(バーコード)です。

「GS1-128 作成機能」とは、アプリケーション識別子(AI)を一覧から選び、印字する変数との紐付けを行うことで容易に GS1-128 が作成できる機能です。「解説文字のアプリケーション 識別子(AI)へのカッコ自動表記」「バーコードが最も短くなるようコードタイプの自動切換え」 「入力の桁数・及び入力値チェック機能」など便利な機能を多数搭載しております。

2. 変数の作成

初めにバーコードに組み込む為のデータを作成しましょう。 今回は、「商品コード」「品質保持期限」「数量」「ロット No.」を含む GS1-128 バーコード を作成する場合を例に説明します。

まず、ML デザインであらかじめ GS1-128 に組み込む変数を作成してください。

🔐 ローカル変数一覧				म
□ 11 □ 2 追加 編集 挿入 切り	★ ① 応 ○取り ⊐ピー 貼り付	¥ け 削除		
変数名	区分	桁数	詳細	
<i>Q</i> ■商品コード	ኢታ	14	入力種類:文字	
	ኢታ	6	入力種類:文字	
ℯ₽数量	入力	8	入力種類:文字	
▶ 🖉 □ットNo.	入力	3	入力種類:文字	
				Ψ.

次に、これらの変数を組み込んだGS1-128 変数を作ります。 変数の種類を「シンボル」を選択します。

② 変数設定 変数の設定を行いま	<u>ः</u>
入力	シンボル種類:AI(アプリケーション識別子)
複写	AI(アプリケーション識別子)
結合	構成:
連番	No. AI 種類 データ 桁数 新規追加(<u>N</u>)
日時	▶ * · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
計算	 削除(E)
シンボル	
	↓ ▶へ移動(型)
	AI: 書式:
	分類:
	說明:
	変数名: シンボルレ1 桁数: 0 🗍
	OK キャンセル

GS1-128の構成を選択します。

「構成」の種類には、自由に構成を編集することができる「カスタム」の他に、医療や食品分野で 使用されている定型パターンも指定することができます。

カスタムを選択した場合は次ページの「カスタム構成」へ、それ以外を選択した場合は「定型パターン構成」へお進み下さい。

D 変数設定		2
変数の設定を行いま	J.	
3.7	~ ヽ - ギョ (編集)、 * 1 / フーディーム - ~ ニ ヽ 140 リフト	
	シンパリロ星類(AI(アノリリーション調約)十)	
12-3	AI(アプリケーション識別子)	
結合	構成:	
連番		桁数 新規追加(N)
日時	医療-シリアル番号	追加(I)
計算	食肉標準-基本/(一コード	削除(E)
シンボル	食肉標準-補助/(ーコード 合肉梗准-明細パーコード	
		上へ移動(U)
		- 下へ移動(W)
	アプリケーション識別子	
	AI: 書式:	
	分類:	
	説明:	
	変数名: シンボル-1	桁数: 0 🗘
		OK =+7>tzil

■カスタム構成

まず、商品コードのAIを組み込みましょう。 AIの項目をクリックすると一覧が表示されます。

② 変数設定					? 🗾
変数の設定を行いま	す。				
入力	シンボル種類:A	NI(アプリケーシ	ョン識別子)		
複写	AI(アプリケー	ション識別子)			
結合	構成: カスタ	4	•		
連番	No. AI	種類	データ	桁数	新規追加(N)
日時	• *	-	•		· 追加(I)
計算	00				
シンボル	01				HJNAR(E)
	02				上へ移動(<u>∪</u>)
	10				▼ 下へ移動(<u>₩</u>)
	- アプリ・12	子			
	AI: 13		書式:		
	分類: 15 17				
	説明: 20				
	21				
	22	-			
	変数名: シンプ	ື່າປ-1			桁数: 0 📜
					OK キャンセル

選択した AIの書式、分類、説明が表示されます。

D 変数設定							? ×
変数の設定を行います	j .						
入力	シンボル	種類:AI(アプリ	ノケーション讚	閖子)			
複写	AI(アプ	リケーション論	裁别子)				
結合	構成:	カスタム	•	•			
連番	No.	AI	種類	データ	桁数		新規追加(N)
日時	Ι 1	01 •	固定 🔹		0	· · · · ·	追加(I)
計算	*	•	-				削除(E)
シンボル							HINK(E)
							上へ移動(<u>U</u>)
						-	下へ移動(<u>W</u>)
	~アプリ!	ケーション識別	子				
	AI:	01	į	書式: n2+n14			
	分類:	グローバル・	トレードアイ	テムナンバー(GTIN)			
	説明:	チェックデジ	ット1桁を除し	たJAN/EANコード12	桁の先頭にパッケージインジ	ケータを設定し、	チェックデ
		ジット1桁を ロ"0"を付け、	申計算した計1 . さらに左端に	4桁とする。米国UPC: :パッケージインジケー	コードではチェックテジットを ·夕1桁を設定し、チェックデ:	2除いたUPC11桁 ジット1桁を再計算	の先頭に前セ 算した計14桁と
	変数名:	シンボル-1				桁数:	0 📜
						OK	
						OK	++>201

AIの「書式」については、次の決まりが有ります。

書式: n3+an...30

入力文字として「n」は数値、「a」は英字、「an」は英数字が利用可能であるとことを示します。 記号の後の数値は入力可能な桁数を示し、「…」は桁数が可変になることを示します。

上記の例「n3+an...30」は、数値が固定3桁と英数字が可変30桁で入力可能なことを示します。

AI 選択後、「種類:変数」にし、予め登録しておいた変数の中から「商品コード」を指定します。

r .					
シンポリ	レ種類:AI(ア)	ブリケーショ	ン識別子)		
構成:	カスタム	/440/09-37-)	•		
No. I 1	AI 01	 種類 変数 	データ ▼ 商品コード	桁数 • 14	新規追加(N)
					削除(E)
	シンボJ AI(アフ 構成: No. X 1	シンボル種類:AI(ア AI(アプリケーション 構成: カスタム No. AI X 1 01	・ シンボル種類:AI(アプリケーショ AI(アプリケーション識別子) 構成: カスタム No. AI 種類 I 1 01 ・ 変数	・ シンボル種類:AI(アプリケーション識別子) AI(アプリケーション識別子) 構成: カスタム ・ No. AI 種類 データ I 1 01 ・ 変数 ・ 商品コード * ・ ・ ・	シンボル種類:AI(アプリケーション識別子) AI(アプリケーション識別子) 構成: カスタム ・ No. AI 種類 データ 桁散 I 1 01 ・ 変数 ・ 商品コード 14 * ・ ・ ・

同様の操作で必要なAIとデータをすべて設定します。

設定が終わったら変数名に「GS1-128」と指定し、「OK」ボタンをクリックして変数を登録します。各変数と AI の組み合わせは次の通りです。

Al	変数
17	品質保持期限
30	数量
10	ロット No.

構成:	: カスタ	4		•					
No	o. AI		種類		データ		桁数		新規追加(N)
	1 01	•	変数	-	商品コード	•	14	*	141-1-1
	2 17	•	変数	-	品質保持期限	•	6		追加(1)
	3 30	•	変数	-	数量	-	8		削除(E)
	4 10	•	変数	•	ロットNo.	-	3		
•	*	-		-					上へ移動(⊻)

以上で「<u>カスタム構成</u>」は終了です。

■定型パターン構成

構成で「食肉標準ー補助バーコード」を選択した場合のみ下のような画面が表示されます。

印字したい項目にチェックを入れてください。項目順序の入替えも可能です。

D AI詳細設定											
AIの詳細設定を行います。印字するAIを一覧から選択して下さい。											
AI詳細設定											
選択	AI	固定長/可変長	桁数		上へ移動(U)						
•	(10)バッチ/ロッ…	可変長	最大20桁								
\checkmark	(7002)枝肉番号…	可変長	最大30桁								
✓	(251)原材料参照…	可変長	最大10桁								
-	(240)連続番号	可変長	最大30桁								
				·							
				OK	+7900						

選択した定型パターンに応じて、AIと変数が自動作成されます。 自動生成された変数から既存の変数に変更することもできます。

入力	シ	シンボル種類:AI(アプリケーション識別子)									
複写	A	(アプ	リケーショ	ョン識別子)							
結合	8	駥:	食肉標準	-補助バーコー	- 15 -	•					
連番		No. AI 種類			テータ	桁数		新規追加(N)			
日時		1	10	- 変数	•	バッチ/ロットNo	•	20	~		
		2	7002	 変数 	•	枝肉番号・カット規格番号	•	30		追加(<u>1</u>)	
計算	•	3	251	 変数 	•	原材料参照番号	•	10		削除(E)	
シンボル		4	240	- 変数	•	連続番号	•	30			
		*								トへお動(川)	

以上で「<u>定型パターン構成</u>」は終了です。

3. GS1-128 のレイアウト作成

さあ、それでは登録した GS1-128 変数を、バーコードでレイアウト上に作成しましょう。 まず、バーコード作成のアイコンをクリックして、デザイン画面に配置してください。



データウィンドウのデータ種類を「変数」にして、変数名をクリックし、先ほど作成した GS1-128 用の変数を選択します。合わせて、バーコードの種類を「GS1-128(UCC/EAN128)」、解説 文字「あり」、倍率「2(倍)」以上に設定します。



これで、GS1-128をレイアウト上に作成する事が出来ました。 印字したバーコードがスキャナで読めるか確認してみましょう。 ※バーコードが読めない場合、バーコードの倍率を大きくすると解消できることがあります。

以上で「<u>2:GS1-128を作成してみよう</u>」は終了です。

3:履歴ファイル

1. 履歴ファイルとは

レイアウトおよび振分発行の発行履歴と、カウンタ項目の値をカウント履歴として蓄積したファイルです。蓄積させたデータはテキスト形式ですので、Excel等で取込んで編集することができます。

2. 履歴ファイルの保存先設定

まず、発行履歴の保存先を設定しましょう。

Windows スタートメニュー>すべてのプログラム>Multi LABELIST V5の

パスワードを聞いてきますので、「user」と入力してください。画面上では「●」で表示されます。「OK」ボタンを選択すると ML メンテナンスの画面が表示されます。

発行履歴を選択し、各発行履歴の出力先フォルダを必要に応じて変更します。 「名前を付けて保存」で、既存の履歴ファイルを別名で保存することができます。 「クリア」ボタンでは、保存している発行履歴をクリアします。

🛄 SATO Multi LAB	ELIST V5 Standard [MLメンテナンス]	? <mark>×</mark>
発行履歴をメンテナ	-ンスします。	
起動設定 言語設定 税率設定	レイアウト発行履歴 出力先フォルダー: C:¥ProgramData¥SATO¥MLV5¥HistoryFiles 名前を付けて保存	 クリア
発行履歴 情報表示	- 振分発行履歴 出力先フォルダー: C:¥ProgramData¥SATO¥MLV5¥HistoryFiles 名前を付けて保存	 クリア
	連番履歴 出力先フォルダー: C:¥ProgramData¥SATO¥MLV5¥HistoryFiles 名前を付けて保存	 クリア
	ОК	キャンセル

3. 履歴ファイルの作成

実際に下のレイアウトを使い、レイアウト発行による、商品コードを履歴保存対象にした履歴ファ ルの作成を行います。

履歴の取得を行うレイアウトを「ML デザイン」で開きます。 (このレイアウトは入力項目として商品コード・商品名を使っています)





次に、入力定義画面に切替え、入力項目をクリックして、プロパティ画面を表示します。

「詳細設定」項目内の「履歴に保存する」にチェックを入れ、レイアウトを保存します。 (デフォルトはチェックが入っています。)

履歴に保存する、しないの設定は入力項目毎に行う必要があります。

詳細設定	*
_動作設定	
📃 発行後に削除	する
☑ 履歴に保存す	ବ
🦳 漢字変換を起	動する
🥅 仕分/カット、	ヘッダ/テールの動作キーにす
ガイド設定 ―	
入力ガイド:	なし・
ツールチップ:	なし・

📔 📄 • 💼 💿 • 📄	• =	履歴保存(レイアウト)	- SATO Multi L	ABELIST V	/5 Stan	dard[ML]	プリント]			
==ファイル ホーム	編集	表示							_		۵
田力先 発行開始 発行	(X) テ中止 テ中止 プレ		レート マファイル データ	ODBC 先頭		次 末 ペー	ペ・ 『尾 『 ジ	-ÿ: 1 / 1	「「「「」 発行動作 印 「」	を設定 連 の なの の の の の の の の の の の の の の の の の	25 番設定
関 フィルタ 👼ク	リア						💼 基準	目付			Ψ×
т	(すべて)	(すべて)	(すべて)				基準	目付:	2013/03	/15	- 🗐
No.	商品コード	商品名	発行枚数				- ·		,		
1	11111	あああああ	1			_					
2	22222	00000	2			_					
3	33333	22222	3			- 1					
						Ţ			D DI		# X
検索: 検索文字を入力し	てください。	 E 					ページ	2:0/0	100%	Θ_{μ}	+
🔊 データー覧 📄 ログ	出力 🔂 エラ	一一覧									
F1: ヘルプ F2: 開く	F3: 次を…	F4: 発行	F5: プレ…	F6: デー…	F7: ファ…	F8:	一覧…	F9: 次の…	F10: 連… F1	1:動…	F12:終了
								Les	sprit408v ドラ・	イバー名	3件:

次に先ほどのレイアウトを「ML プリント」で開き、発行動作をクリックします。

発行動作設定の画面でその他のタブを選択します。

「発行履歴を出力する」または「連番履歴を出力する」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。(デフォルトはチェックが入っています。)

📔 レイアウト発行時動作設定	
レイアウト発行のその他動作	を設定します。
発行動作 入力設定	 ✓ 発行時にレイアウト発行ダイアログを表示する(⊻) ✓ ファイルから入力データを呼び出すときにファイルダイアログを表示する(E) ✓ 発行アプリケーションを終了するときにデータの保存確認メッセージを表示する(M)
ヘッダ・テール札出力 エラー処理	 ✓ 発行履歴を出力する(P) ✓ 連番履歴を出力する(N)
その他	□ フォームオーバレイを使用する(Q) □ 排出カットを使用する(パーシャルカット時)(E)
	OK キャンセル

実際発行してみましょう。 発行後、ML メンテナンスで指定したパスに履歴ファイルが作成されているか確認してみましょう。



「発行した日付」「時間」「レイアウト(振分)名称」「発行枚数」「基準日付」、そして最後に履歴保存対象として入力設計画面で指定した項目の値が書き込まれます。

連番履歴は、	1回の発行でヘッダ部と	データ部の2行のデータ	7で構成されます。

分類	内容(タブ区切り)								
ヘッダ部	ッダ部 ヘッダ区分(H)		レイアウト名称	変数区分 ローカル/グローバル	カウンタ変数名				
データ部	データ区分(D)	カウン	 カウンタ値 1/カウンタ値 2/…/カウンタ値 n						

以上で「3:履歴ファイル」は終了です。

4:MLコンバート

1. ML コンバートとは

Multi LABELIST V4 で使用していたレイアウトおよび振分情報を Multi LABELIST V5で使用 できるように変換する機能です。オプションを有効にすることで、レイアウトに紐づく内部データ も変換可能です。

2. レイアウトの指定

パスワードを聞いてきますので、「user」と入力してください。画面上では「●」で表示されます。「OK」ボタンを選択すると ML コンバートの画面が表示されます。

パスワードの確認	? 💌
MLコンバートを起動します。 管理者パスワードを入力してください。	
パスワード(P): ••••	
ОК ‡ †	ンセル

まず、Multi LABELIST V4 のレイアウトファイル、振分ファイルを検索します。

検索対象のフォルダ及び検索する対象ファイルの種類を指定し、「検索開始」ボタンをクリックします。

SATO Multi LABELIST V5 Standard[ML	ニコンバート]		
ファイル(<u>E)</u> ヘルプ(<u>H</u>)			
参照先フォルダー(<u>N</u>): C:¥			… 🔲 サブフォルダーも検索(<u>S</u>)
検索対象: レイアウト(*.mllay)(<u>L</u>)	☑ 振分(*.mlden)(D)		検索開始(<u>R</u>) 検索中止(<u>X</u>)
No. 選択 ファイル名	ファイル形式	作成日時 更新日時	ステータス
			^
Multi LABELIST V5			23

検索結果が表示されます。

C SATO	Multi	LABELIST V5 Standard[MLコンバート]								
ファイル	(<u>E</u>) ^	ルプ(且)								
参照先フォルダー(N): C:¥ ···										
検索対象	k: 🗸	-イアウト(*.mllay)(<u>L</u>)			「	検索開始(<u>R</u>)	検索中止(X)			
No.	選択	ファイル名	ファイル形式	作成日時	更新日時	ステータス				
1		🥙 01-おにぎりラベル(50X35).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02		*			
2		憦 02-ロールケーキ(40X70).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02					
3		憦 03-貝の佃煮(40x60).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02					
- 4		憦 04-パスタ(45x60).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02		E			
5		🧐 05-弁当(60x60).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02					
6		🧐 06-加工食肉ラベル(38X55).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02					
7		🧐 TEST.mllay	レイアウト	2013/02/01 15:15:44	2013/02/01 15:16:12					
8		🧐 濃度テスト.mllay	レイアウト	2013/01/31 13:13:59	2013/01/31 13:13:59					
9		🖏 レィアウト(01-24 13-48).mllay	レイアウト	2013/01/24 13:48:53	2013/01/24 13:48:53					
10		憦 レイアクト(01-28 15-14).mllay	レイアウト	2013/01/28 15:14:55	2013/01/28 15:14:55		•			
▲ 検索中.						-] ファイル数:15件			

3. オプション設定

オプション設定では、旧プリンタ機種に設定されているレイアウトを後継機種への割付けや、図形 オブジェクト・Windows フォントの変更方法を変更することが可能です。

•表示方法

メニューの[ファイル]-[オプション]を選択します

(C SATO Multi LABELIST V5 Standard[MLコンバート]								
[ファ	イル	(<u>E</u>) へ	ルプ(<u>H</u>)					
	オプション…(<u>A</u>)			ョン(<u>A</u>)					
	Ż	2	終了(<u>X</u>)) Alt+F4	llay)(<u>L</u>)	▼ 振分(*.mlden)(D)			
		No.	選択	ファイル名			ファイル形式		
		1		🏷 01-おにき	ピラベル(50X3	5).mllay	レイアウト 3		
		2		🏷 02-□−,1	/ケーキ(40X70)).mllay	レイアウト コ		
		3		🏷 03-貝の佃]鴦(40x60).mll	ay	レイアウト に		
		4		🏷 04-パスタ	v(45x60).mllay		レイアウト 3		
		5		慃 05-弁当(6	50x60).mllay		レイアウト 2		
		6		🏷 06-加工食	図ラベル(38X5	5).mllay	レイアウト		

■基本設定

作成者は、ファイルの更新履歴に記録されます。コンバートを行った作成者を特定する場合に使用 します。

ログは、コンバート時にログ出力ウィンドウに表示される内容をログレベルで変更します。「警告・ エラー」にすることでレイアウトの確認が必要な情報のみに絞ることができます。

😋 オプション		?	×
基本オプションを設定し	Lata		
基本設定 プリンタ デザイン 入力定義	作成者 作成者: ログ ログレベル: 情報・警告・エラー		
	ОК	++72	ะม

■プリンタ割付

Multi LABELIST V4の機種をV5の機種に割付けます。

Multi LABELIST V4、V5 双方で対応しているプリンタ機種の場合、予め「新プリンタ機種」は 指定されています。新プリンタ機種が「未選択」の機種が指定されているレイアウトをコンバート すると「プリンタ未選択エラー」となり、コンバートに失敗します。

新プリンタ機種一覧から、割付先のプリンタを選択します。

印字速度・濃度を変換する場合はチェックを有効にします。

プリンタの割付が終わったら、「OK」ボタンをクリックしオプション画面を終了します。

🕻 オプション	オプション 🔹 💌							
プリンタ割り付け	を設定	ミしま	す 。					
基本設定	基本設定 No. 旧ブリンタ機種 新ブリンタ機種 目							
7055		1	TR400	SATOC(サトック)ST308R	Н	🔲 変換する		
7929		2	TR410	SATOC(サトック)ST312R	ł	<u></u>		
デザイン		3	TR410BT	未選択	•	 変換する 		
		4	MR400	未選択	•	 変換する 		
		5	MR410	未選択	•	 変換する 		
		6	MR600	未選択	•	📄 変換する		
		7	MR610	スキャントロニクス BF412R	4	🔄 変換する		
		8	M-4800RV	スキャントロニクス MT400e		 変換する 		
		9	MT400	スキャントロニクス MT410e		_ 変換する ▼		
				CL6NX-J 08				
				CL6NX-J 12	-	キャンセル		
				スキャントロニクス SG608R				

■デザイン設定

図形オブジェクト変換方法は、図形オブジェクトをグラフィックに変換することが可能です。 Windows フォント変換方法は、利用していた MLV4 のバージョンが Ver.4.4 以下か Ver.4.5 以 上によってフォントサイズを調整します。

Windows フォント情報出力方法は、通常変更する必要はありません。Ver.5.9.0.1 より古いバージョンで変換したレイアウトと合せる場合は「WPF」に変更します。

グラフィックオブジェクトの伸縮モードは、通常変更する必要はありません。 グラフィックが黒く 潰れてしまう場合は「標準」に変更します。

💽 オプション		?	×
デザインの変換方法を	設定します。		
基本設定 プリンタ <mark>デザイン</mark> 入力定義	図形は支換方法: 図形に変換する Windowsフォント変換方法: MLV4 Ver.4.5以上で発行している Windowsフォント情報出力方法: GDI(MLV4互換) グラフィックオブジェクトの伸縮モード: GDI互換		•
	ОК	キャンセ	่ะม

■入力定義

入力項目の履歴保存は、入力項目に入力されたデータを発行履歴に出力する設定を有効にするか調 整します。

発行履歴の出力、連番履歴の出力は、履歴の出力有無を変更できます。

エラー処理は、発行時にエラーとしてメッセージ表示する動作を調整します。

└┋ オプション		?	×
入力定義の変換方法	を設定します。		
基本設定	入力項目の履歴保存:		
プリンタ	130] 発行履歴の出力:		•
入力定義	有効		•
	連番履歴の出力: 「 有効		•
	エラー処理:		
	MLV4レイアウトに従う		•
	ОК	++>>t	211

4. コンバートを行う

税率、プリンタ割付け設定が完了したら、変換オプションを設定します。

出力先、内部データを変換するかなどを指定し、検索ファイルから対象データを選択した上で変換 を実行します。

C	SATO Multi LABELIST V5 Standard[ML⊐>/(−ト]									
7	ファイル(<u>E)</u> ヘルプ(<u>H</u>)									
-	参照先フォルダー(N): C:¥ ···· ▼サブフォルダーも検索(S)									
検索対象: V レイアウト(*.mllay)(L) V 振分(*.mlden)(D) 検索開始(R) 検索開始(R)							食素開始(<u>R)</u> 検索中止(<u>X</u>)			
	No.	選択	ファイル名	ファイル形式	作成日時	更新日時	ステータス			
	1	\checkmark	🇐 01-おにぎりラベル(50X35).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02	<u>^</u>			
	2	\checkmark	🇐 02-ロールケーキ(40X70).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02				
	3	\checkmark	憦 03-貝の佃煮(40x60).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02				
	4	\checkmark	04-パスタ(45x60).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02				
	5	\checkmark	憦 05-弁当(60x60).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02				
	6	\checkmark	🧐 06-加工食肉ラベル(38X55).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02				
	7	\checkmark	🧐 TEST.mllay	レイアウト	2013/02/01 15:15:44	2013/02/01 15:16:12				
	8	\checkmark	🧐 濃度テスト.mllay	レイアウト	2013/01/31 13:13:59	2013/01/31 13:13:59				
	9	\checkmark	% レイアウト(01-24 13-48).mllay	レイアウト	2013/01/24 13:48:53	2013/01/24 13:48:53				
	10	\checkmark	% レイアウト(01-28 15-14).mllay	レイアウト	2013/01/28 15:14:55	2013/01/28 15:14:55	*			
	<	-			1					
	検察元.	ſ					ファイル奴:131件			
	変換オ	プション								
	出力先	(0):	指定の出力先フォルダーに出力する • C:	¥MLV5						
	✓ 内部	ドデータ	7を変換する(<u>I)</u>							
				(すべて選択(<u>A</u>)	選択を解除(<u>E)</u> 変	換開始(<u>U</u>) 変換中止(<u>C</u>)			

変換結果はステータスで確認できます。

「警告」はログ出力で詳細内容を確認してください。

	C SATO Multi LABELIST V5 Standard[ML⊐>/(−ト]								
	170(L) //							
1	照先フ	オルタ	′−(<u>N</u>): C:¥				 ・・・ マ サブフォルダーも検索(S) 		
検	索対象	√	ノイアウト(*.mllay)(<u>L</u>)				検索開始(<u>R)</u> 検索中止(<u>X</u>)		
	No.	選択	ファイル名	ファイル形式	作成日時	更新日時	ステータス		
	1	\checkmark	🇐 01-おにぎりラベル(50X35).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02	変換完了 📩		
	2	\checkmark	🇐 02-ロールケーキ(40X70).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02	変換完了		
	3	\checkmark	🧐 03-貝の佃煮(40x60).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02	変換完了		
	4	\checkmark	104-パスタ(45x60).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02	変換完了		
	5	\checkmark	🧐 05-弁当(60x60).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02	変換完了		
	6	\checkmark	🧐 06-加工食肉ラベル(38X55).mllay	レイアウト	2012/08/22 11:29:02	2012/08/22 11:29:02	変換完了		
	7	\checkmark	🧐 TEST.mllay	レイアウト	2013/02/01 15:15:44	2013/02/01 15:16:12	変換完了		
•	8	\checkmark	🧐 濃度テスト.mllay	レイアウト	2013/01/31 13:13:59	2013/01/31 13:13:59	 ・ ・ ・		
	9	\checkmark	🧐 レイアウト(01-24 13-48).mllay	レイアウト	2013/01/24 13:48:53	2013/01/24 13:48:53	変換完了		
	10	\checkmark	🧐 レイアウト(01-28 15-14).mllay	レイアウト	2013/01/28 15:14:55	2013/01/28 15:14:55	変換完了 ▼		
4				"					
3	[換元]						ファイル数:131件		
3	を換オフ	プション							
	出力先	(<u>o</u>):	指定の出力先フォルダーに出力する ・ C:¥	MLV5					
[✔ 内部	データ	7を変換する(1)						
					すべて選択(<u>A</u>)	選択を解除(<u>E)</u> 変	換開始(U) 変換中止(C)		
	ログ:	·力							
×\ 20	13/03	ンの値 /18 1	後二 快歩ス子を入力してください。 そ4013 (注意品加美クワンロート美新藩体 ラベル・パシット	 (1) EVUボンクロ 	-X llav 公務問題				
20	13/03	/18 1	3:40:13 C:¥製品別¥ダウンロード¥新検体ラベル(35X5	0) EVリボン.m	llay 警告メッセージ[印字速	度指定が有効に設定されて	いますが、印字速度は変換されませ		
h	-]								
20	13/03	/18 1	3:40:13 C:¥製品別¥ダウンロード¥新検体ラベル(35x5	0)EVリボン.m	llay 警告メッセージ[印字濃	度指定が有効に設定されて	いますが、印字濃度は変換されませ		
20	i] 13/03	/18 1	3:40:13 C:¥製品別¥ダウンロード¥新檜体ラベル(35x5	0) EVリボン.m	llav 変換完了[C:¥MLV5¥型	品別¥ダウンロード¥新検体	:ラベル (35x50) EVリボン.mllavx1		
20	13/03	/18 1	3:40:13 C:¥製品別¥レイアウト(02-27 17-13).mllay 変換開	治	,				
20	13/03	/18 1	3:40:13 C:¥製品別¥レイアウト(02-27 17-13).mllay 変換完	了[C:¥MLV5¥劃	品別¥レイアウト(02-27 17-13).	mllayx]			

コンバートが終了したら、出力先として指定した場所にフォルダが新たに作成されています。 フォルダ構成は、元の Multi LABELIST V4 ファイルの保存先と同じ構成で作成され、その中に V5 用にコンバートされたレイアウトが作成されます。

レイアウト名に「.data」と付いたフォルダには内部データが保存されています。



発行確認を行ってみましょう。

5. コンバートを行う(コンテキストメニュー)

税率、プリンタ割付け設定が完了している状態で、MultiLABELIST V4 のレイアウトファイルや 振分ファイルのコンテキストメニュー(右クリックして表示されるメニュー)で、簡単にコンバー トすることができます。(変換後のファイル出力先の指定や内部データの変換はできません。)

ファイルのコンテキストメニューて	「MIV5ファイルに変換」	をクリックします。

📜 🛛 🛃 📮 🛛 C:¥sato		- 0	×
ファイル ホーム 共有 表示			~ 🕐
\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow \blacktriangleright > PC > Window	ws (C:) > sato	✓ ひ satoの検索	Q
 ★ クイック アクセス ★ デスクトップ _ショートカット 」ショートカット はool ダラフィック ● PC ● ダウンロード ● デスクトップ № ドキュメント № ピクチャ № ピデオ 1 個の項目を選択 1.29 KB 	A label1.mllay	レイアクト発行(L) レイアウト管理(E) メモリーカート 登録(M) エロルト登録(D) MLV5ファイルに変換(E)	
		解凍(X)	>

ML デザインが起動して変換が行われます。

ッセージの検索: 検索文字を入力してください。	-	
0017/10/04 16:02:48 C:¥sato¥label1.mllay 変換開始 0017/10/04 16:02:49 C:¥sato¥label1.mllay 変換開始 MLデザイン × ×		
ОК		,

変換後のファイルは、元のファイルと同じフォルダに同じ名称で保存されます。



以上で「<u>4:MLコンバート</u>」は終了です。

5:連番を判別値毎に保存してみよう

1. 連番を判別値毎に保存するとは

入力データ(変数項目)の値により、連番値を判別して保存する機能です。 例としては、店舗名ごとに連番値を保存することが出来ます。

判別項目は最大3つまで登録でき、複数登録した場合はAND条件にて判別いたします。 キーと一致せずに判別できない場合は、設定外として共通の部分に連番値を保存します。 また、保存された連番値の修正は、MLプリント画面にて行えます。

2. 連番変数の設定

判別キーとして使用する入力変数を作成しておきます。

変数名:判別キー

桁数:10桁

次に、変数の追加にて「連番」を選択して各条件を入力して、「連番保存方法」で「判別値毎に保 存する」を指定し、「判別値…」ボタンをクリックします。

▶ 変数設定	8	×
変数の設定を行いま	इ.	
入力 複写 結合	連番種類(<u>C</u>): 数値(レイアウト) ◆ ○ 発行時に入力する(<u>I</u>) <u>数値(レイアウト)</u> 編集パラメータ n進数: 10進数 ◆ 連番範囲: 1 ↓ ~ 99 ↓ 増減値: 1 ↓	
計算 シンボル	連番評細 カウント条件: 指定した発行枚数毎にカウントする ◆ 指定枚数: 1 ★ 枚 連番保存方法: 判別値毎に保存する ◆ 判別値 連番保存値の初期化: なし ◆	
	変数名: 連番-1 桁数: 1 :	
	OK キャンセノ	L

項目1に先ほど作成しておいた変数「判別キー」を指定し、値の種類を「文字」にします。 判別値の入力が完了したら「OK」ボタンをクリックします。

判別値は「ファイルから取込み」ボタンでファイルのデータを利用することも可能です。

🕟 判別値設定				?	×					
判別値設定を行います。最	判別値設定を行います。最初に判別項目を選択して、選択した判別項目の判別値を入力します。									
判別項目										
項目1: 判別キー			▼ 判別	条件1: 文字	2 -					
項目2:			▼ 判別	条件2: 数值	1 •					
項目3:			▼ 判別	条件3: 数値	<u>i</u> •					
判別値設定				I						
No. 判別値1	判別値2	判別値3		追加(<u>A</u>)					
2 恵比寿				削除(<u>D</u>)					
3 目黒										
4 田町			_							
				上へ移動	(U)					
					W					
			¥							
	ファイルから取込み(」)	ファイルへ出力(<u>E</u>)	ОК	キャンセ	้ม					

3. 連番保存値修正手順

ML プリント画面にて「連番設定」をクリックします。



判別キーに一致しなかったデータの連番保存値が表示されます。 判別キー毎の連番保存値を修正する場合は「判別連番値設定」をクリックします。

 連番値設定 ? ※ 											
j	連番値の開始値の設定を行います。										
		変数名	種類	開始値	区分	詳細					
	۲	判別キー連番	レイアウト連翻	6	コーカル	入力:なし	10進数	1-99	保存方法:判別値毎に保存する	*	
										T (D)	
	判別連番値設定(2)										
										2/7/1	

設定した判別キーの値が表示され、それぞれの連番開始値を修正可能です。

▶判別連番値設定										
判別連番値の開始値の設定を行います。										
判	判別項目									
IJ	頁目1: 判	別キー				種類:	文字			
IJ	頁目2:					種類:				
IJ	員目3:					種類:				
一当	別連番値									
	判別値1	判別値2	判別値3	開始値						
•	目黒			1				*		
	品川			3						
	新宿			2						
										

以上で「5:連番を判別値毎に保存する」は終了です。

6:オブジェクトの印字条件設定

1. オブジェクトの印字条件設定とは

白黒反転や罫線など、ラベルデザインを構成する各オブジェクトの印字有無を制御する事が出来る 機能です。例えば、ラベルデザイン上の一部が入力項目の値によって白黒反転する・しないの双方 のケースが存在する場合、条件を設定することで白黒反転の切り替えが可能となります。



今回は、既存のレイアウトファイルを使い、下記条件に合致した場合に部門コード(変数文字)を 白黒反転させるパターンを例に説明いたします。

条件「部門コード が <u>1~99</u> → 白黒反転する(それ以外は白黒反転しない)

 ① 2 3
 ①「変数」に登録
 ②「入力チェックテーブル」に印字有りの条件値を設定

③白黒反転オブジェクトに印字有無の条件(①、②)を設定

2. オブジェクトの印字条件設定に必要な事前設定

印字する・しないの切替え設定を行うためには、ML デザインの画面で、条件となる「変数」および「チェックテーブル」の作成が必要になります。 本マニュアルでは「変数」と「チェックテーブル」を条件に使用します。

Windows スタートメニュー>すべてのプログラム>Multi LABELIST V5の **D** MLデザイン を選択します。

条件に使用する変数を以下のように設定します。

11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		 								
変数名	区分	桁数 詳細								
▶ 🕢部門コード	አታ	3 入力種類:文字	*							
7			•							
₩ ローカル変数一覧	🛓 ローカルテーブル-	,一覧 🕌 ローカルチェックテーブル一覧 🗔 ローカルグラフィック一覧								

条件に使用するチェックテーブルを以下のように設定します。

10 部門範囲 - チェックテーブル登録 2 2 2 2 2										
編集(<u>E</u>) データ(<u>D</u>) ツール(<u>T</u>)										
 う で ご ボ ボ	🖒 💼 😫 コピー 貼り付け 削減		データの一部を入	カしてください 🛛						
入力許可項目種: 数值 •										
テーブル名(N): 部門範囲										
No. 值1	範囲1	条件1	値2	範囲2	条件2					
• 1	1	99 =	•		= ^					
*			•							
۰ III					*					
チェック条件: 1 ・ データ:		テスト実行	📫 テスト結果	2:						
				ОК	キャンセル					

3. オブジェクト印字有無の条件設定

「ML デザイン」画面で、「2」で作成した部門コード変数と、固定の文字列を以下のように レイアウト上に配置します。



印字有無の条件を設定するオブジェクトをレイアウトに配置します。 (本マニュアルでは、「白黒反転オブジェクト」を部門コード上に配置します)



「2」の白黒反転オブジェクトをクリックし、プロパティウィンドウの属性設定の「印字」 アイコ ンをクリックします。


印字条件設定画面で、変数名にあらかじめ作成した「部門コード」を指定し、判定内容で「指定ロ ーカルチェックテーブルの条件を満たす」を選択します。

ローカルチェックテーブルの指定画面で、作成しておいた「部門範囲」を選択し、使用するチェックテーブル条件 No(1~5)を選択します。

最後に「OK」ボタンをクリックすると登録します。

DD 印字条件設定	?	×
印字条件を指定してください。		
データ 種類: 変数 ▼		
変数名: (ローカル)部門コード		
条件		
判定内容: 指定ローカルチェックテーブルの条件を満たす		-
ローカルチェックテーブル		
テーブル名: 部門範囲		-
条件: 1 •	沂規作成(<u>N</u>)
ОК	キャンセ	211

「変数」もしくは「条件」が設定されていない状態で「OK」ボタンをクリックすると、以下のようにエラーメッセージが表示されます。設定した上で、再度「OK」ボタンをクリックしてください。



以上で設定作業は完了です。レイアウトは名前を付けて保存し、次の項目で、発行やプレビュー画 面を使い確認してみましょう。

4. 印字確認

先ほど作成したレイアウトファイルをMLプリントで起動します。 設定した条件どおりに印字されるか、実際に発行して確認を行って下さい。

今回は条件を「1~99」のチェックテーブルにしているため、 部門コードに「88」を入力して印字した結果は、白黒反転されます。



部門コードに「100」を入力して印字した結果は、白黒反転されません。



印字有無の判断は変数編集後の値で行います。

そのため、条件設定の参照変数には、編集後の結果が分かり難い変数の使用は極力さけ、入力 文字変数(各種編集は一切設定しない)にて設計いただくことをお勧めいたします。

例として、条件設定で参照する変数に、テーブル変換編集が有効だった場合、変換後の値とチ ェックテーブルの値が比較されます。

入力値	テーブル変換後の値	
001	目黒	
002	品川	◆条件の判別値として利用されます。
003	新宿	

以上で、「<u>6.オブジェクトの印字条件設定</u>」は終了です。

7:発行枚数計算機能

1. 発行枚数計算機能とは

変数の値や固定値などを計算項目として任意の計算式を設定し、発行枚数を算出できる機能 です。例えば、100個ある商品を決まった数ずつ箱詰めした際の箱に貼るラベルの数などが 算出できます。

100個ある商品を8個ずつ箱詰めし、箱の数分ラベルを発行したい場合、

100÷8=12余り4 → 13箱分のラベルが必要となります。

発行枚数計算機能を活用することで、枚数を手入力することなく必要な枚数で発行できます。



2. 変数の作成

発行枚数演算の計算対象項目に「入力値」を使用するためには、予め「ML デザイン」画面で「変数」を作成し、「変数文字」としてレイアウト上に配置しておく必要があります。 本マニュアルでは以下の「変数」を発行枚数計算の条件として使用します。

Windows スタートメニュー>すべてのプログラム>Multi LABELIST V5の **D** MLデザイン を選択します。

条件に使用する変数を以下のように設定します。

Ħ	ローカ	ル変数一	·覧									щ
[追) 1 1 加編集	○ ゴ 挿入	メ 切り取り	_0 ⊐צ−	<mark>間</mark> 貼り付け	業 削除	検索:	変数	名の一部を入力して	ください	 ? へルプ 	
	変数名		区分		ħ	衍数			詳細			
	ℯ┛個数		አታ					6	入力種類:文字			*
۲	<i>ℴ</i> ┛入数		እ ታ					3	入力種類:文字			
												*

発行枚数計算に使用する変数は、発行時に値を入力し計算するため、その値をラベルやタグに印 字する必要が無い場合でも、「変数文字」としてレイアウト上に配置する必要があります。 配置した上で印字不要の場合は、文字設定画面で「印字しない」を指定してください。

デザイン 入力定義 表形式	ชื่า วื⊡เ/ื≂₁ ₽			
	文字			
	B I U 会 計細設定 領域を指定する 日 日 日			
¹⁰	詳細設定 属性設定			
20	印字位置(mm) 縦: 12.0833 ↓ 横: 11.25 ↓			
	回転: 0° ▼ 印字色: 黒色 ▼ =			
	印字: 印字しない ◆ 条件設定 □ 履歴に保存する			
	マウス操作:			
し一覧				

本マニュアルのレイアウトでは、作成した「入数」変数のみ印字し、「個数」はラベルやタグ に印字不要のため、「印字しない」設定の変数文字とします。 印字しない設定をすると文字がグレーの表示になります。



3. 発行枚数計算の条件設定

「2」で作成したレイアウトの「入力定義」画面を表示します。 ヘッダー部にある「個数」「入数」項目を行部に移し、項目の順番を入替えます。



「発行枚数」項目の上でクリックし、プロパティウィンドウの「基本設定」の中の「枚数計算」項 目をクリックします。

D	発行枚数計算(レイアウト)* - SATO Multi LABELIST V5 Sta	ndard[MLデザイン]	基本設定	*
まファイル ホーム 入力定義				
🄊 元に戻す 🔹 📈 切り取り 🕌 削除			項目名: 発行枚数	ζ
	位置順序(行へ ヘッダヘ 拡大 縮小 画面サイス	c	모스, 또 처음	
■ 貼り付け 編集	配置 ブーム		ビカ: 17 刈家	8. ローカル変数
※オブジェクト 単 デザイン	 入力定義 表形式 	ペプロパティ	_ 発行枚数	
▶ 選択			項目名表示:	入力フィールドの上に…・・
		基本設定		
		項目名: 発行枚数	テーブル表示:	なし …
		区分:行 対象	編生表示:	なし, …
No.	個数 入数 発行枚数 XXXXXXX XX0 XXXXXXX	発行枚数	111512201311	0.0
	1 2 3	項目名表示:	入力チェック:	なし …
四月形		テーブル表示:	3 古北洋粉生118日・	あわ:6桁
発行枚数	数 6桁	→ 編集表示:		
■ □ − カル変数一覧		↓ 入力チェック:	枚数計算:	なし …
	業 検索・ 赤海々の一部を1.カレアノビネロ □□□	入力指数。同限:		
追加 編集 挿入 切り取り コピー 貼り付け		枚数計算:	フォント――	
変数名区分	桁数 詳細	フォント	メイリオ	•
▶ ⁽²⁾ 10 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	 ○ 人//裡現:文子 3 入力種類:文字 	×イリオ	サイズ(nt)・ Q	•
■ローカル変数一覧 当ローカルテーブル一覧 当ローカルチェックテーブル一覧 □ローカルグラフィック一覧 ■ローカルグラフィック一覧 □ローカルグラフィック一覧 □ローカルグラフィックー覧				

「枚数計算」画面が開きますので、「発行枚数の計算を行う」チェックを有効にし、以下の項目を 入力可能にします。

 ▶ 枚数計算 	? ×
最初に発行枚数計算の有無を選択します。発行枚数の計算を行う場合は	、計算式の設定をしてください。
☑ 発行枚数の計算を行う(<u>C</u>)	
計算式(<u>F</u>):	テスト(I)
入力項目(I)	関数(N)
項目の挿入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	関数の挿入
開始位置: 0 🐊 終了位置: 0 🛟	書式:
計算種類(<u>K</u>) + - × ÷ ¥	說明:
括弧(2)	
	OK キャンセル

「計算式」項目に式を設定します。画面にある入力項目等から計算式を作成することが可能です。 本マニュアルでは、「個数」÷「入数」の結果を切り上げた値を取得したいため、「ROUNDUP 関数」を使って計算式を記述します。

「ROUNDUP 関数」では、「引数」として、切り上げ処理をする値を指定します。 今回切り上げ処理をしたいのは「個数」÷「入数」の計算結果の値なので、「引数」には この「個数」÷「入数」という計算式をセットする必要があります。

計算式を「引数」として手でセットすると、記述にミスなどが発生しやすいため、一度 「計算式」の項目に「入力項目」で変数を選択して「個数」÷「入数」の計算式をセットし、 その計算式をコピーすると、ミスも少なく設定が可能です。 ではまず、入力項目で変数「個数」を選択し「項目に挿入」で計算式に値をセットします。

🕕 枚数計算		? 💌	
最初に発行枚数計	算の有無を選択します。発行枚数の計算を行う場合は、計算式の設定をし	てください。	
▼ 発行枚数の	†算を行う(C)		
計算式(F):		=====================================	
□ 入力項目(I)	。関数(N)		
項目の挿入	■ 関数の挿入	•	
開始位置:	発行枚数 書式:		
-計昇催類(K) -	人		
		-?- <u>-</u> ?	3
括弧(P)	最初に発行枚数計算の有無を選択します。発行枚数の計算を行う場合は	、計算式の設定をしてください。	
	☑ 発行枚数の計算を行う(C)		
		=7 k(T)	1
	λ 力項目(I)	問数(N))
	項目の挿入 個数 ・	関数の挿入	
		2	
		a元中3:	
	+ - × ÷ *		
	括弧(P)		
			Ĩ
		OK キャンセル	

次に、「計算種類」の「÷」をクリックします。

計算式(<u>F</u>):	[個数,1,6]/

更に、変数「入数」を選択し、以下のような計算式を作成します。

計算式(<u>F</u>): [個数,1,6]/[入数,1,3]	計算式(<u>F</u>):	[個数,1,6]/[入数,1,3]	
-------------------------------------	------------------	-------------------	--

これで、「ROUNDUP 関数」の引数に入れる計算式ができましたので、この計算式を切り取り、 「関数」の一覧から「切上げ」を選択の上、「関数の挿入」ボタンをクリックします。

	? 💌
最初に発行枚数計算の有無を選択します。発行枚数の計算を行う場合は	、計算式の設定をしてください。
▼ 発行枚数の計算を行う(<u>C</u>)	
計算式(<u>F</u>): [個数,1,6]/[入数,1,3]	テスト(I)
入力項目(I)	関数(<u>N</u>)
項目の挿入入数・	関数の挿入 切上げ ・
開始位置: 1 🛟 終了位置: 3 🛟	書式: ROUNDUP(数値,桁数)
計算種類(<u>K</u>) + - × ÷ ¥	説明: 第一引数の数値を、第二引数の桁数で切上げます。桁数は 正⇒小数点以下、負⇒整数桁となります。
括弧(<u>P</u>)	
	OK キャンセル

関数挿入画面が表示されますので、「数値」に先ほど切り取りした計算式をセットします。 「桁数」は「O」とセットし、「OK」ボタンをクリックします。

\rm 関数排	iλ 🔹 💽 🔀
ROUND	UP関数の引数を入力してください。
数値:	[個数,1,6]/[入数,1,3]
桁数:	0
	OK キャンセル

計算式に、以下のような計算式がセットされましたか?

「テスト」ボタンをクリックし、計算結果を確認してみましょう。

	? <mark>×</mark>
最初に発行枚数計算の有無を選択します。発行枚数の計算を行う場合は	、計算式の設定をしてください。
 ☑ 発行枚数の計算を行う(C) 計算式(E): ROUNDUP([個数,1,6]/[入数,1,3],0) 入力項目(I) 項目の挿入 入数 ・ 開始位置: 1 、終了位置: 3 、 計算種類(K) + - × ÷ ¥ 括弧(P) () 	関数(N) 関数の挿入 切上げ 書式: ROUNDUP(数値,桁数) 説明: 第一引数の数値を、第二引数の桁数で切上げます。桁数は 正⇒小数点以下、負⇒整数桁となります。
	OK キャンセル

「個数」「引数」にそれぞれ「100」、「8」と入力し、「テスト実行」ボタンをクリックします。 計算結果に「13」と表示されましたか?確認が終わったら「閉じる」をクリックします。

D 計算式表	FZN			? 💌					
計算式のテ 果を表示し	計算式のテストを行います。計算式で使用している入力項目の値を入力して、テスト実行を行うと計算結 果を表示します。								
計算式:	ROUNDUP([個数,1,6]/[入数,1,3],0))							
No.	入力項目	データ							
1	個数	100		*					
▶ 2	入数	8							
				•					
計算結果	13								
			テスト実行(I)	閉じる					

枚数計算画面に戻ったら、「OK」をクリックし登録を完了します。

□ 枚数計算	? 🔀
最初に発行枚数計算の有無を選択します。発行枚数の計算を行う場合は	、計算式の設定をしてください。
 図 発行枚数の計算を行う(C) 計算式(E): ROUNDUP([個数,1,6]/[入数,1,3],0) 入力項目(I) 項目の挿入 入数 ・ 開始位置: 1 : 終了位置: 3 : 計算種類(K) + - × ÷ ¥ 括弧(P) () 	関数(N) 関数の挿入 切上げ ・ 書式: ROUNDUP(数値,桁数) 説明: 第一引数の数値を、第二引数の桁数で切上げます。桁数は 正⇒小数点以下、負⇒整数桁となります。
	<u>ОК</u> キャンセル

本マニュアルのように、「発行枚数」項目を計算に使用しない場合、 以下のメッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。





D 🗁 • 🗐 🤊 • 🤆 • =	発行枚数計算(レイアウト)* - SATO	Multi LABELIST V5 Standard[MLデザイン	
			۵
 ラ元に戻す・ ※初り取り ※削除 ごコピー 認知り付け 編集 	R 位置 順序 正置 R	 ・ ・	
☆オブジェクト ∓ デザイ	ン 入力定義 表形式		🚰 プロパティ 🛛 🕂
▶ 選択			発行枚数
▲ 文字	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		基本設定
			項目名: 発行枚数
			区分: 行 対象: ローカル変数
本 小ラノ		<u></u>	発行枚数
L L L L L L L L L L L L L L L L L L L	個数 入数 発行枚数 実発行枚数		項目名表示: 入力フィールドの上に… ・
	1 XXXXXX XXX XXXXXX XXXXXXX	A	テーブル表示:なし
	2 1 2 3		編集表示: なし …
			入力チェック: なし …
		Ŧ	入力桁数制限: あり:6桁 ・
発行核	数 6桁	[準(100%) 100%	557511台. 50 …
■ ローカル変数一覧		10 表:	0%
	 検索: 変数名の一部を入力してく	ださい () へルプ	×197
変数名 区分	桁数 詳細		サイズ(pt): 9 ・
▶ 🖉 個数 入力	6 入力種類:文字	<u>^</u>	
▲入数 入力	3 入力種類:文字		色の設定
			文字色: 🔳 黒 🔹 🔹
			発行枚数 発行枚数を設定します。
	「見」 当 ローカルチェックテーフル 一見 し	リローカルシラフィック一見	

以上で設定作業は完了です。

次の項目で、発行画面で値を入力し、実発行枚数(計算結果)を確認しましょう。

4. 発行枚数計算結果確認

レイアウト発行画面にて入力項目に値を入力し、「実発行枚数」項目に正しい演算結果の値がセットされるかを確認します。

本マニュアルでは以下の条件で計算していますので、計算結果は13枚となります。

く条件>

100個ある商品を8個ずつ箱詰めし、箱の数分ラベルを発行したい場合

📔 🗁 • 🔳 💿 • (発行枚数	計算(レイアウ	ト) - SAT(0 Multi	LABELI	ST V5 S	Stan	dard[MLプリント]				
- ファイル ホー	ム編集	表	示											۵
出力先 発行開始	2000 C C C C C C C C C C C C C C C C C C	プレビニ) 1- 7 -) 📄	ODBC	人 先頭	前	次 3	未尾	ページ: 1 / 1	上 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	A	25 連番設知	Ĕ
\$	ě行			データ				~-	Ś			設定		
🛛 🛛 ७४७४ 🧃	クリア									🧱 基準日付				Ψ×
T	(すべて)	(…	(すべて)							基準日付:	2013	/03/2	22	-
No.	個数	入数	発行枚数	実発行枚数					II.					
	*	8		13										
									L					
									h	「る印刷プレドュー				л×
									II.	CB HANDING				1
									Ľ					
検索 , 検索サウを1+	ローティださい	\ \						•		of0		1000/ (
		••								A-2:0/0		100% (-	Inninnin	
❷] テーター覧 ■ □ F1: ヘルプ F2: 関く	ク出力 しるコ	E ラー-	─覧 F4·登行	F5: 71	E6' ₹	·	F7・ファ	···· F8		- 19· 次の…	F10· 演	E11-	ēh	F12· 终了
121 100	1011	-			10.7			10	L'es	prit(レスプリ)T40	8v/R408v	ドライノ	(一名	1件 .

以上で、「<u>7:発行枚数計算機能</u>」は終了です。

8:アドバンスモードを使ってみよう

1. アドバンスモードとは

白黒反転や合成シンボルなど拡張機能を利用することができる動作モードです。

2. アドバンスモードの設定方法

ML デザインのファイルメニューから「オプション」を選択し、動作モードを「アドバンスモード」 に設定します。





合成シンボルやコマンドの機能が利用できるようになります。

3. アドバンスモードの機能

ベーシックモードとアドバンスモードは利用できるデザインオブジェクトと変数に違いがありま す。

■デザインオブジェクト

デザインオブジェクト		サトープリン	タ	カラープリンタ		
ノジョンオン	עדער	ベーシック	アドバンス	ベーシック	アドバンス	
選択		0	0	0	0	
文字	(1)貼付	0	0	0	0	
	(2)入力	0	0	0	0	
	(3)連番	0	0	0	0	
	(4)日時	0	0	0	0	
バーコード	(1)貼付	0	0	0	0	
	(2)入力	0	0	0	0	
	(3)GS1 Databar	\times	0	\times	0	
	(4)GS1-128	×	0	×	0	
	(5)CODE128	×	0	×	0	
2 次元	(1)貼付	0	0	0	0	
コード	(2)入力	0	0	0	0	
合成	(1)貼付	×	0	×	0	
シンボル	(2)入力	\times	0	\times	0	
グラフィッ	(1)貼付	0	0	0	0	
クリンイツ	(2)呼出	×	0	×	0	
_	(3)入力	\times	0	\times	0	
図形	(1)直線	0	0	0	0	
	(2)四角形	0	0	0	0	
	(3)三角形	0	0	0	0	
	(4)円	0	0	0	0	
表		0	0	0	0	
白黒反転		0	0	×	×	
赤色領域		×	0	×	×	
コマンド		×	0	×	×	
RFID		×	0	×	×	
シンボルウ ィザード		×	0	×	0	

■変数

変数	設定項目	アドバンスモードで使用可能になる項目
入力	変数種類	[16 進文字コード]、[グラフィック]
	編集パラメータ	次表を参照。
固定	すべて	(ベーシックモードは非表示)
複写	編集パラメータ	次表を参照。
結合	編集	クロスチェック
連番	連番種類	[数値(プリンタ)]、[文字]
	数値(レイアウト)	[ループ時に増減値を引き継ぐ]
	 粉店(リノマウト)	[発行指示毎にカウントする]、[デザインオブジェクト毎に
		カウントする]、[他の変数値がループする毎にカウントす
		ର]
	編集パラメータ	次表を参照。
日時	日時種類	[システム日付]
	文字種別	[全角]
	編集パラメータ	次表を参照。
計算	変数種類	[プライス C/D]、[プライス丸め]
	編集パラメータ	次表を参照。
条件	すべて	(ベーシックモードは非表示)
シンボル	すべて	(ベーシックモードは非表示)
システム	すべて	(ベーシックモードは非表示)

編集パラメータ

アドバンスモードは全ての機能が利用できます。

	ベーシックモードの制限							
編集パラメータ	入力	複写 (編集前)	連番	日時	計算			
テーブル変換	0	0	×	0	0			
改行削除	\times	×	×	×	\times			
指定文字削除	×	×	×	×	×			
税編集	0	0	×	×	0			
カンマ編集	0	0	0	×	0			
通貨編集	0	0	×	×	0			
1 文字補填	\times	×	×	×	\times			
桁寄せ	0	0	0	0	0			
置換	X	×	×	×	×			
前ゼロ補填	0	0	0	×	0			

以上で「8:アドバンスモードを使ってみよう」は終了です。

9:GS1 DataBar 及びGS1 合成シンボル印字機能

1. GS1 DataBar 及び GS1 合成シンボル印字機能とは

GS1 DataBar 及び GS1 合成シンボルを印字するための機能です。

GS1 DataBar 及び GS1 合成シンボルを利用する場合は、<u>動作モードをアドバンスモードに変更</u> してください。

2. レイアウトの設計方法

■GS1 DataBar 指定

1. ML デザインでバーコードオブジェクトのプロパティにて、GS1 DataBar として作成可能な バーコード種類が「GS1 DataBar ・・・」という名称で一覧に表示されます。

ピプロパティ		щ		
バーコード				
基本設定		*		
項目名: バーコ]— Ň-1			
データ				
貼付	•			
0000000000	000			
パーコード設定				
バーコード設定 種類・ 1AN/EAN12				
1至天見,				
解説文字付加:	標準刀-トンID GS1-128(UCC/EAN128)			
高さ: 19	UPC-A[ノリンタに従う]			
倍率:	UPC-A			
	GS1-128(UCC/EAN128)	J		
詳細設定	GS1 DataBar Omnidirectional			
	GS1 DataBar Truncated	пы		
周性設定	GS1 DataBar Stacked	2		
印字位置(mm)	GS1 DataBar Stacked Omnidirectional			
縦: 6.91	GS1 DataBar Limited			
	GS1 DataBar Expanded			
回転: 0°	GS1 DataBar Expanded Stacked			
種類				

2. 印字を行うバーコード種類を選択し、1 次元バーコード部の仕様に沿ったキャラクタコード、 桁数を指定することで GS1 DataBar が表示されます。

デザイン 入力定義 表形式	ชาวิตภุริส มี
	基本設定 単品: パーコード・1 データ 助付 リ() ・ 00000000000 ・ バーコード設定 ・ 種類: GS1 DataBar Stacked 解説文字付加: なし 倍率: 5 ÷ (倍)

■GS1 合成シンボル指定

1. ML デザインのファイルメニューから「オプション」を選択し、動作モードを「アドバンスモード」に設定します。



	オプション				? ×
į	基本オプションを設定し	ます。			
	基本設定	動作モード:	アドバンスモード	•	
	デフォルトレイアウト		ベーシックモード		
	デザイン画面		MADAL 1		
	自動保存				
				ОК ‡	ャンセル

2. 合成シンボルオブジェクトをデザイン画面に配置します。

🔀 オブジェクト	щ	デザイン 入力定義 表形式
▶ 選択		
A 文字	•	
₩₩₩ バーコード	•	
■2次元コード ■2次元コード	•	
‱る成シンボル	•	
クラフィック	•	
8、 図形	•	

3. 合成シンボルオブジェクトを選択し、プロパティのプルダウンメニューからバーコード種を選択します。

ピプロ ノ	গ্নিন	д
合成シン	สับเ	
基本設定	*	Â
項目名:	合成シンボル-1	
データ		
貼付	-	
1次元:	00000000000	
2次元:	0	E
	のスペースを取り除く	
合成シ	ンボル設定	
種類:	GS1 DataBar Omnidirectional Composite(CC-A/CC-B)	
倍率:	GS1 DataBar Omnidirectional Composite(CC-A/CC-B)	•
	GS1 DataBar Truncated Composite(CC-A/CC-B)	
属性設定	GS1 DataBar Stacked Composite(CC-A/CC-B)	
。印字位	GS1 DataBar Stacked Omnidirectional Composite(CC-A/CC-	B)
縦:	GS1 DataBar Limited Composite(CC-A/CC-B)	=
種類	GS1 DataBar Expanded Composite(CC-A/CC-B)	
合成シン	GS1 DataBar Expanded Stacked Composite(CC-A/CC-B)	
	UPC-A Composite(CC-A/CC-B)	
	UPC-E Composite(CC-A/CC-B)	

3.GS1 合成シンボルの印字を指定する場合には 1 次元バーコード部のデータと 2 次元コードの データをそれぞれ指定してください。

例)1次元:0123456789012、2次元:1707100210ABC123



3. 補足説明

■GS1 合成シンボルでの FNC1 指定

• FNC1(GS)をデータとして指定する場合は、 '#' (23h)を指定してください。

■GS1-128 Composite(CC-A/CC-B)及び(CC-C)のバー高さ指定

• GS1-128 Composite (CC-A/CC-B)及び(CC-C)のみ1 次元バーコード部のバー高さが指 定できます。倍率を「1」とした場合のバーコード高さとなります。

なお、指定できる最大値はプリンタのヘッド密度によって異なります。

ヘッド密度	高さ	プリンタ機種
8本/mm	62.5mm	CL4NX-J08、T/R408v-exなど
12本/mm	41.7mm	CL4NX-J 12、T/R412v-exなど
24 本/mm	20.85mm	CL4NX-J 24、HA224R など

 ・ 合成シンボルオブジェクトを選択し、プロパティの基本設定で指定します。

 例) 高さ「5」、倍率「2」の場合、1次元バーコード部の高さは「10mm」になります。

表形式	ピ プロパティ	Ŧ
10 20 30 40	合成シンボル	
*	基本設定	^
	項目名: 合成シンボリレ-1	
	データ	
	貼付	
	1次元: 0123456789012	=
	2次元: 1707100210ABC123	
	□ 未尾のスペースを取り除く	
	合成シンボル設定	
	種類: GS1-128 Composite(CC-A/CC-B) ▼	
	高さ: 5 🛟 (mm)	
	倍率: 2 🛟 (倍)	

■変数の使用について

- GS1-128、GS1 DataBar、GS1 DataBar Composite でシンボル変数が利用できます。
 その他のGS1 合成シンボルは結合変数を使用してください。
- シンボル変数は、自動的に先頭や可変データの末尾に FNC1 を付加し、AI に応じて最適なコードセットに切り替えてデータを生成します。

■データに関する制限について

• 各バーコード種類によって指定できるデータの種類が異なりますのでご注意ください。

指定可能な文字								
1 次元バーコード部								
バーコード種:GS1 DataBar Expanded、、GS1-128 Composite								
英数字、半角スペース、記号 29 文字*								
★ 「!」 「″」 「\$」 「%」 「&」 「'」 「(」 「)」 「★」 「+」								
「,」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「=」「>」「?」								
F@」 F[」 F¥」 F]」 F L」 F {」 F}」 F~」								
バーコード種:上記以外の GS1 DataBar、GS1 合成シンボル								
数字のみ								
2次元コード部(すべて共通)								
英数字、半角スペース、記号 21 文字*								
∗ 「!」 「″」 「%」 「&」 「'」 「(」 「)」 「∗」 「+」 「,」								
「-」「.」「/」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「_」「#」(#は FNC1 となります。)								

- GS1-128 Composite (CC-A/CC-B)の場合、2次元コード部が56桁以下の場合はCC-A、 57~338桁の場合はCC-Bとして自動的に判別されます。
- GS1 DataBarの1次元バーコード部の先頭に必要なAI(アプリケーション識別子)「O1」は、 スキャナが付加して出力します。但しGS1 DataBar Expanded にはデータとして指定する 必要があります。
- GS1 Databar の1次元バーコード部のチェックディジットは自動補填されます。但し、GS1 Databar Expanded のみデータとしてチェックデジットを指定する必要があります。

■読み取り確認のお願い

• GS1 合成シンボルは種類が多く、データの構成も複雑になりますので、必ずスキャナによるデ ータのご確認をお願いいたします。

以上で「<u>9:GS1 DataBar 及び GS1 合成シンボル印字機能</u>」は終了です。

10:バイナリ情報設定機能(二次元コード)

1. バイナリ情報設定機能とは

バイナリ情報とは文字では表現できないキャラクタのことであり、二次元コードではこれらを表現 して利用することができます。このような、バイナリ情報を付加した各種シンボルの印字を可能と するのがバイナリ情報設定機能になります。

バイナリ情報設定を利用する場合は、動作モードをアドバンスモードに変更してください。

例えば、原材料メーカなどでは QR コードにバイナリ情報を付加してトレーサビリティシステムを 実現している事例があります。以下はその QR コード仕様の一例になります。次ページより具体的 な設定方法を記載しておりますが、 内容は以下の QR コード仕様に基づき記載しています。

表示シンボル:QRコード 格納データ : [)>【RS】O5【GS】O1(GTIN)【GS】17(保証年月日)【GS】11(製造年月日)【GS】 10(ロット番号)【GS】412(GLN)【RS】【EOT】

※以下がバイナリ情報になります。

- 【RS】 レコードセパレータ(1E)
- 【GS】 グループセパレータ(1D)
- 【EOT】 メッセージトレーラ (04)

2. レイアウトの設計方法

■結合変数で作成する

1. データを入力する変数を作成します。 以下の設定で各項目の入力変数を作成します。

\sim	4						0						
P	0-	ーカル	し変数-	一覧									
追	ba i	们 編集	○∬ 挿入	切り	ん)取り	0 ⊐ピ–	記 貼り付	業 け 削除	■ 一括	検索	द:	変数名の一部を入力	っしてください
	変数	洺			区分			桁数			詳約	油	
•	a c	GTIN			እታ					14	λ7	力種類:文字	
	a f	呆証年	月日		አታ					6	λ7	力種類:文字	
	a z	製造年	月日		አታ					6	λ7	力種類:文字	
	a-	וע⊏	番号		አታ					20	λ7	力種類:文字	
	a (GLN			入力					13	λ7	力種類:文字	

2. QR コードで利用するために、各項目を結合変数にて一つにまとめます。 バイナリ情報の入力は、種類で「キャラクタ」を選択し、データの「…」をクリックします。

D	▶ 変数設定											
ሟ	変数の設定を行います。											
1												
	入力	子	項目選	訳編集								
	固定		No.	種類		データ		桁数		属性		
	波写		1	固定	•	[)>		1	3	固定文字:[)>		
	12-5	I	2	キャラクタ	•				0			
	結合		*		-							
	連番											
	日時											

3. バイナリ情報のキャラクタを選択して、「OK」ボタンをクリックします。

‡↑ 最褚	キャラクタの選択を行います。 最初にコード種類を選択して、一覧から設定するキャラクタを選択します。										
	ード種類: A9	GCII⊐−ド ・									
	キャラクタ	16進文字コード	補足								
	DC3	13									
	DC4	14									
	NAC	15	否定応答								
	SYN	16	同期文字								
	ETB	17	伝送ブロック終了								
	CAN	18	取り消し								
	EM	19	媒体終端								
	SUB	1A									
	ESC	1B	エスケープ								
	FS	1C	ファイル・セパレータ								
	GS	1D	グループ・セパレータ								
٠	RS	1E	レコード・セパレータ		E						
	US	1F	ユニット・セパレータ								
	SP	20	空白、ブランク、スペース								
	DEL	7F	抹消		*						
	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・										
				ОК ‡	ヤンセル						

٥	▶ 変数設定										
3	変数の設定を行います。										
	入力	子	項目違	訳 編集							
	固定		No.	種類		データ	桁数	属性			
	推定		1	固定	•	[)>	3	固定文字:[)>			
	12-3	I	2	キャラクタ	•	RS	1	ASCIIコード			
	結合		*		•						
	連番										
	日時										

4. 同様の手順で、バイナリ情報と入力項目を組合せてデータを作成します。

変数の設定を行います。									
入力	子項目	選択 編集							
固定	No.	種類		データ		桁数	属性		追加(<u>A</u>)
複互	1	固定	•	[)>		3	固定文字:[)>	-	
1×-7	2	キャラクタ	•	RS		1	ASCIIコード		
結合	3	固定	•	05		2	固定文字:05		
連番	4	キャラクタ	•	GS		1	ASCIIコード		
	5	固定	•	01		2	固定文字:01		
	6	変数	•	GTIN	•	14	変数種類:入力,入力種類:文字		
計算	7	キャラクタ	•	GS		1	ASCII⊐−ド		
~ ~ 件	8	固定	•	17		2	固定文字:17		
	9	変数	•	保証年月日	•	6	変数種類:入力,入力種類:文字		
シンボル	10	キャラクタ	•	GS		1	ASCIIコード		
システム	11	固定	•	11		2	固定文字:11		
	12	変数	•	製造年月日	•	6	変数種類:入力,入力種類:文字		
	13	キャラクタ	•	GS		1	ASCIIコード		
	14	固定	•	10		2	固定文字:10		
	15	変数	•	ロット番号	•	20	変数種類:入力,入力種類:文字		
	16	キャラクタ	•	GS		1	ASCIIコード		
	17	固定	•	412		3	固定文字:412		
	18	変数	•	GLN	•	13	変数種類:入力,入力種類:文字		
	19	キャラクタ	•	RS		1	ASCII⊐−ド		
	20	キャラクタ	•	EOT		1	ASCII⊐−ド		
	*		•						上へ移動(旦)
									下へ移動(W)
				12-WL					
		のスペースを耳	以除き	5桁数を減らす((<u>E</u>)				
	変数名	QR⊐−ド						桁	数: 83 📜
								ОК	キャンセル
					_				

5. デザイン画面で QR コードに作成した結合変数を設定して完成です。



■固定変数で作成する

1. データを入力する変数を作成します。 以下の設定で各項目の入力変数を作成します。

		ーーカル	変数-	覽								
	[追	♪ 1 1 加編集	□1 挿入) 切り	ん 取り	0 ⊐ピ–	『 貼り付	¥ け 削除	■ 一括	検索	変数名の一部を入れ	りしてください
ľ		変数名			区分			桁数			詳細	
	۲	<i>‰</i>I GTIN			አታ					14	入力種類:文字	
		<i>≪</i> ■保証年	F月日		አታ					6	入力種類:文字	
		🖉 製造年	F月日		አታ					6	入力種類:文字	
		<i>@</i> ■□ット	番号		አታ					20	入力種類:文字	
		🖉 GLN			አታ					13	入力種類:文字	

2. バイナリ情報を固定変数で作成します。

種類で「16進文字コード」を選択し、データに16進数の文字列を入力します。 ここではレコードセパレータを「1E」で入力しています

D	変数設定	
ሟ	数の設定を行います	ġ.
L	<u>እ</u> ታ	種類: ◎ 文字 ⑧ 16進文字コード
	固定	データを入力してください: 現在[1]桁 最大1024桁
Ы	複写	1E
L	結合	
L	連番	
H	日時	
L	計算	
L	条件	
L	シンボル	
L	システム	
ľ		● 通常は種類[文字]を利用してください。種類[16進文字コード]は、文字では表示できないTABやGSなどバイナリ情報を 指定する際に利用します。
		⑦ 種類[文字]はデータをASCIIコードで入力します。改行も可能です。
		
		変数名: レコードセパレータ(RS) 桁数: 1
		OK キャンセル

3. 変数の作成が完了すると変数一覧に表示されます。

□ □				
	😫 🗔 _{検索} : 変 除 一括	数名の一部を入力して	ください 🔳 🕨	? ヘルプ
変数名	区分	桁数	詳細	
<i>G</i> TIN	入力	14	入力種類:文字	
← 保証年月日	ኢታ	6	入力種類:文字	
√→製造年月日	ኢታ	6		
	ኢታ	20	入力種類:文字	
- GLN	ኢታ	13	入力種類:文字	
▶ □ レコードセパレータ(RS)	固定	1	データ種類:16進…	

引続き同様の手順で、必要な変数を作成していきます。

₩ ローカル変数一覧			
	😫 🔄 検索: 変 1除 一括	数名の一部を入力して	ください ミト ? ヘルプ
変数名	区分	桁数	詳細
<i>«</i> ∎GTIN	入力	14	入力種類:文字
	入力	6	入力種類:文字
	入力	6	入力種類:文字
─────────────────────────	入力	20	入力種類:文字
<i>w</i> ■GLN	入力	13	入力種類:文字
□ レコードセパレータ(RS)	固定	1	データ種類:16進文字コード,固定文字:1E
■ グループセパレータ(GS)	固定	1	データ種類:16進文字コード,固定文字:1D
■ メッセージトレーラ(EOT)	固定	1	データ種類:16進文字コード,固定文字:04
▶ ■ メッセージヘッダ([)>)	固定	3	データ種類:文字, 固定文字:[)>

4. QR コードで利用するために、各項目を結合変数にて一つにまとめます。

作成した変数を順番に選択します。

		****	L	1/-₩6	_	D16		
固定	NO.	裡與	7-9	MT£X				追加(<u>A</u>
複写	• 1	変数	 メッセージヘッタ([)>) 	•	3		^	削除(D
社会	2	変数	・レコートセバレータ(RS)	•	1	2010年1月11日20日1月11日20日1月11日20日11日11日11日11日11日11日11日11日11日11日11日11日11		
TRO	3	固定	• 05		2			
連番	4	変数	・ クルーフセバレータ(GS)	•	1	変数種類:固定, テータ種類:16進…		
日時	5	固定	• 01		2			
	6	変数	GTIN	•	14	変数種類:人力,人力種類:文字		
計算	/	変数	・ クルーフセバレータ(GS)	•	1	変数種類:固定, テータ種類:16進…		
条件	8	固定	• 17		2			
いたがい。	9	変数		•	6	変数裡類:人力,人力種類:文字		
22/100	10	変数	・ クルーノセバレータ(GS)	•	1	変数種類:固定, テータ種類:16進…		
システム	11	固定	• 11 #N###PP		2			
	12	変数		•	6	22 数 裡類: 入力, 入力 裡類: 文字		
	13	変数	・ クルーノセバレータ(GS)	•	1	変数種類:固定, テータ種類:16進…		
	14	固定	• 10		2			
	15	変数	 レット番号 セント番号 	•	20	変数種類:入力,入力種類:文子 本数 年期、 にたます。		
	16	変数	・ クルーノセバレータ(GS)	•	1	変数種類:固定, テータ種類:16進…		
	17	回走	412		3			
	18	変数	GLN	•	13	2937 2017,人刀裡類:又子 本教徒時 回向 デート活用する法		
	19	変数	 レコートセパレータ(RS) パッセーンドレーラ(RS) 	•	1		F	へお動
	20	変数	・メッセージトレーラ(EOT)	•	1	変数種類:固定, テータ種類:16進…		- M5/#0
			•				₹	へ移動(
	▼ 未尾(のスペースを取除	き桁数を減らす(E)					

5. デザイン画面で QR コードに作成した結合変数を設定して完成です。



以上で「10:バイナリ情報設定機能(二次元コード)」は終了です。

11:RFID 書込み機能を使ってみよう

RFID 書込み機能を使って IC タグにデータを書込んでみましょう。

1. RFID 書込み機能とは

RFID書込み機能とは、ICタグにデータを書込む機能のことです。

RFID 書込みを利用する場合は、動作モードをアドバンスモードに変更してください。

対応プリンタは、CL4NX-Jシリーズ、レスプリ R412v-RFID、エヴィ EV212R-RFID のR F I D対応機になります。

2. | Cタグの種類と容量

各にタグのメーカーと容量は次のようになります。

容量を超えた情報を指定した場合、超過分のデータは書込みを行いませんのでご注意下さい。

IC タグの種類	メーカー	容量(byte)
ICODE SLI	Philips Semiconductors	112
Tag-it HF-I	Texas Instruments	256
my-d *	Infineon	1000

* my-d は最大登録容量が 232byte と 1000 byte の 2 種類のインレットがあります。 232byte のタグに対して最大登録容量を超えてデータ書込みを行うと RFID タグエラーとなります。

3. RFIDに書込んでみよう

デザインオブジェクトから「RFID」を選択してデザイン画面に配置すると、デザイン外パレット が表示され、RFIDのアイコンが追加されます。



プロパティウィンドウで書き込むデータを入力し、使用する「インレット種」を選択します。

RFID					
基本設定					
項目名: RFID-1					
書込みデータ 貼付 http://www.sato.co.jp/					
タグ インレット種: I-CODE SLI ▼ タグエラー毎視指定:					
指定なし ・					
属性設定 🔦					
書込み: 書込む ▼ 条件設定					

4. その他の IC タグへの書込み

I-CODE SLI、Tag-it HF-I、my-d 以外の IC タグ種を利用する場合は、コマンドオブジェクトで プリンタ用コマンド(SBPL)を記述して書込みを行います。

デザインオブジェクトから「コマンド」を選択してデザイン画面に配置すると、ESC のアイコンが追加されます。



プロパティウィンドウで書き込むプリンタコマンド(SBPL)*を設定します。 *SBPL の作成方法については弊社販売拠点までご連絡ください。

例:IC チップメーカー拡張仕様タグの EPC 領域にデータを任意の長さで書込むコマンドを指定

督 วัดเกิรา	ц.					
אַעדר						
基本設定	*					
項目名: コマンド-1 コマンド 貼付 エスケープは "^" で表現し、プリンタのコマンドをそのまま 記述します						
^IP0e:h,epc:303132333435363738393031						
▼ デザインエリアへ配置する	21					
送信タイミング: 印字データに含める	~					
属性恐觉	•					

RFID コマンドは位置情報が必要ないため、「デザインエリアへ配置する」のチェックをはずします。ESC アイコンがデザイン画面からデザイン外パレットに移動します。

デザイン 入力定義 表形式	プロパティ 単
10 20 30 40 デザイン外パレー・ 4 アサイン外パレー・ 4 オ イ イ マ ・ マ ア	コマンド
RFID RFID-1	基本設定 🔦
	項目名: コマンド-1
ESC コマンド-1	コマンド
	貼付 🗸
	エスケープは "^" で表現し、プリンタのコマン
	ドをそのまま記述します。
	^IP0e:h,epc:012345678901234567890123
	43078901,
³⁰ =	□ デザインエリアへ配置する
	送信タイミング: 印字データに含める ・
40	

発行時に、設定した内容がIC タグに書き込まれます。

以上で「<u>11:RFID書込み機能を使ってみよう</u>」は終了です。

12:条件変数を使ってみよう

条件変数を使って、入力桁数によって文字のサイズを変更する、入力項目数によって結合する文字 を変更するなど、複雑な条件に従って印字内容を変えることができます。

1. 条件変数とは

条件変数とは、条件式を設定して真偽判定(True/False)を行う機能のことです。 条件に応じた値を印字したり、オブジェクトの印字条件として利用することもできます。

条件変数を利用する場合は、動作モードをアドバンスモードに変更してください。

2. 条件変数の作成

入力桁数が 5 桁より大きい場合に、フォントサイズが小さくなるように、「条件変数」と「オブ ジェクトの印字条件」を作成しましょう。

1. 変数の追加を選択します。

Α	文字			•	Inli	_				
Ø.	カル蜜	。 数一覧								
〕 追加	1 〕 肩集	ゴ挿入	※ 切り取り	ראב שני-	<mark>こ</mark> 貼り付け	業 削除	一括	検索:	変数名の	一部を入力し
変換	故名		区分	ŕ		桁数			詳細	
🔐 D-	カル変	数一	😫 ローカ	ルテーブノ	ルー覧	🏅 ローカノ	レチェック	テーブルー	-覧 🗔 🛙	コーカルグラフィ

2. 入力変数で変数名「商品名」、桁数「10」で作成します。

D 変数設定						?	×
変数の設定を行います。							
入力	入力変数種	重類: 文字	•	-			
固定	編集パラメ	-9					
複写	順序	編集内容	設定内容		設定詳細		
結合	• 1	テーブル変換	なし				^
連番	2	改行削除 指定立 字 削除	なし	•			- 11
日時	4	税編集	なし	•			
計算	5	カンマ編集	なし	•			
	6	通貨編集 1 文字維持	なし	•			- 11
*T	8	イスチャーク	なし	•			- 11
	9	置換	なし				
5774	10	前ゼロ補填	なし	•			- 11
							-
	対象文写	2:			ブレビュー(2) 📫 編集後:		
	変数名:	商品名			桁数:	10	:
					ОК	++>	セル

3. 続けて、条件変数を作成します。

🛂 変数設定			? ×
変数の設定を行います			
入力	比較対象: 💿 数值 🔘 文字		
固定	条件式:		テスト(D
補写	変数	関数]
14-7	変数の挿入(⊻) ・	関数の挿入(E)	•
結合	開始位置: 0 🗘 終了位置: 0 🗘	書式:	
連番	☆計算種類	説明:	
日時	+ - × ÷ ¥		
計算	= <> < > ≦ ≧		
条件	括弧		
シンボル			
システム			
	判定結果の値を指定する(Q) A 条件式の判定結果により、変要	y値を切り替える場合に選択します。	
	🚺 変数/計算種類/括弧/関数を組み合わせて、条件式を作成し	ます。	
	変数名: 条件-1	Kī	数: 1 🗘
		ОК	キャンセル

4. 関数リストから「桁数」を選択し、「関数の挿入」を押します。



5. 「OK」ボタンをクリックします。

1 國数挿入	?	×
LEN関数の引数を入力してください。		
数値または文字:		
ОК	キャン	セル

6. 条件式の「LEN()」の「()」の中にカーソルを合わせます。

D	2 変数設定		
変	数の設定を行います。	2	
	入力	比較対象: 💿 数值_ 🔘 文字	
	固定	条件式: LENØ	
		実数	貝数
	複写	本粉の持 3 00	884

7. 変数リストから「2」で作成した入力変数を選択し、「変数の挿入」を押します。

D							
変	変数の設定を行います。						
	入力	比較対象: 🍥 数值 🔘 文字					
	固定	条件式: LEN([商品名,1,10])					
	複写	変数 変数の挿入(V) 商品名 ▼					
	結合	開始位置: 1 🗘 終了位置: 10 🗘					
	連番	計算種類					
8. 条件式の末尾をクリックし、計算種類で「≦」を押します。

C	D. 変数設定									
199	変数の設定を行います。									
	入力	比較対象: 🖲 数值 🔘 文字								
	固定	条件式: LEN([商品名,1,10])<=								
	複写	変数								
		変数の挿入(V)商品名								
		開始位置: 1 🗘 終了位置:								
	連番	(計算種類)								
	日時	+ - × ÷ ¥								
	計算	= <> < > ≦ ≧								

9. 条件式の末尾に「5」を入力します。

٥	23 変数設定								
湙	変数の設定を行います。								
	入力	比較対象: 💿 数值 🔘 文字							
	固定	条件式: LEN([商品名,1,10]):=5							
		~ 変数							
	複写	変数の挿入いの商品名							

10. 変数名「5 桁以下」で「OK」ボタンをクリックします。

📴 変数設定			? ×
変数の設定を行います。			
入力	比較対象: 💿 数値 🔘 文字		
固定	条件式: LEN([商品名,1,10])<=5	88.47	テスト(D
複写	変数 変数の挿入(V) ▼	関数 関数の挿入(F)	
結合	開始位置: 0 2 終了位置: 0 2	書式:	
連番	計算種類	説明:	
日時	+ - × ÷ ¥		
計算	= <> < > ≦ ≧		
条件	括弧		
シンボル			
システム			
	判定結果の値を指定する(Q) A 条件式の判定結果により、変数	y値を切り替える場合に選択します。	
	変数/計算種類/括弧/関数を組み合わせて、条件式を作成し	<i>,</i> ます。	
	変数名: <mark>5桁以下</mark>	桁数	: 1 🕽
		ОК	キャンセル

Multi LABELIST V5

以上で変数作成は完了です。

次の項目で、条件変数と印字条件を組合せましょう。



3. オブジェクトの作成

入力桁数が 5 桁より大きい場合に、フォントサイズが小さくなるように、フォントサイズの異なる文字を同じ位置に配置し、印字条件を設定しましょう。

1. 変数一覧から入力変数をデザイン画面にドラッグ&ドロップします。

🖸 📷 = 🖳 🦻 = C = =	(レイアウト)* - S	ATO Multi LABELIST V5 Enterpris	se[MLデザイン]	– 🗆 X
■= ファイル ホーム デザイン				۵
 ⑦ 元に戻す・ ※切り取り ※ 創除 ⑦ コピー ◎ コピー ◎ 計り付け 			夏日 座標単位 用紙回転	
編集	配置	ズーム	表示設定	
深オブジェクト 早 デザイ	ン 入力定義 表形式			ef Jaking 4
▶ 選択 1	0 10 20 30	40 50 60	70 80 90	文字 3
A x ₂ ► =				基本設定 * *
<u>н</u> (б-л-К				項目名: 文字-1
				データ
				変数 *
■ 合成シンボル				変数名: (ローカル)商品名 …
	?????????	??		補填 前: 後:
2 ⊠™ ► =				フォント
表 30				種別: Windowsフォント ・
 ■ 白黒反転				Yu Gothic UI -
				サイズ(pt) ≡
				高さ: 9 ・ 幅: 自動 ・
₩₩ シンボルウィザード 50 				
		N 24 4667 ////// 4/4 / 42200		 領域を指定する
X++>	トロニクス SG412K-ex Y: 19.0833	, X: 21.1667 件数: 1/1 132%	•••	詳細設定 💙
留□-カル変数一覧			4	属性設定
🗅 🦷 🗂 👗 🗅 💼	業 ■ 検索: 1 数名の一部を)	入力してください 🔳 🖻	0	印字位置(mm)
追加 編集 挿入 切り取り コピー 貼り付け	削除 一括		ヘルブ	縦: 19.0833 🛟 横: 22.4167 🛟
▲ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	10 入力研想·文字	2		回転: 0° •
		72 HH 101		
			•	<u> 中学また ・ 条件時定 </u>
□□¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬	■ ローカルナエックナーノル一覧 □□ ローカ	ルクフノイック一覧		文字を設定します。

2. フォントサイズを「20」に設定し、印字設定で「条件印字」を選択します。

	ชาวิธฺหัรง
50 60 70 80 90	文字 ②
	データ 変数 ・ 変数名: (ローカル)商品名 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
???	種別: Windowsフォント Yu Gothic UI サイズ(pt) 高さ: 20 ・幅: 自動 B I U A A 部 詳細設定 ● 領域を指定する #細設定 *
00 件数: 1/1 132% 🔵 🔍 🕀	属性設定
#	印字位置(mm) 縦: 19.0833 章 横: 22.4167 章
どさい	回転: 0° •
	印字色: 黑色 -
^	印字: 印字する 条件設定 1000
	マウス揉 条件印字 マウス 描 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
クー覧	印字指定「ロナしない」

3. 変数名に条件変数を指定、判定内容で「条件式の判定結果が True(真)」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

📴 印字条件設定	?	×
印字条件を指定してください。		
デ−タ 種類: 変数 ▼		
変数名: (ローカル)5桁以下		
_ 条件		
判定内容: 条件式の判定結果がTrue(真)		•
ОК	キャンセノ	l

変数-	・覧から入	力変数をデ	ザイン	'画面に	ドラッ	グ&ドロ	ップします	0
	変数-	変数一覧から入	変数一覧から入力変数をデ	変数一覧から入力変数をデザイン	変数一覧から入力変数をデザイン画面に	変数一覧から入力変数をデザイン画面にドラッ	変数一覧から入力変数をデザイン画面にドラッグ&ドロ	変数一覧から入力変数をデザイン画面にドラッグ&ドロップします

[] ー ・] う ・ (・ ・ ・) (レイアウト)* - SATO Multi LABELIST V5 Enterprise[MLデザイン]	- 🗆 X
- ファイル ホーム デザイン	
 ラ 元に戻す ・ お 切り取り ● かり直し ・ 2 パー ● かりまたり ・ 2 パ	α.
ズオブジェクト 単 デザイン 入力定義 表形式	
▶ 選択 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 ▲ 文字 ● ● 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 ▲ 文字 ● ● ● ● 0 10 <	文字 デーク 変数 - 変数 - 変数名: (ローカル)商品名 構造前: 後: フォント - 運動: (Windows7オント 予加: (Windows7オント マント - 運動: (Windows7オント マント - 電力: (Windows7オント マント - 電力: (Windows7オント (Windows7オント - (Windows7オント
	縦: 31.9167 、 横: 24.0833 、
□ 消 35 み □ ■ 詳 ■ 検索: 変す 名の一部を入力してください ■ 2 通加 編集 挿入 切り取り コピー 貼り付け 削除 一括	回転: 0° -
変数名 区分 桁数 F 細	印字色: 黑色 •
□ 5桁以下 条件 1 条件式1EN([商品名	印字: 印字する ・ 条件設定 🎆 マウス操作: 📐
留ローカル変数ー… 込 ローカルテーブル 一覧 ば ローカルチェックテーブル 一覧 ニローカルグラフィック 一覧	文字 文字を設定します。

5. フォントサイズを「10」に設定し、印字設定で「条件印字」を選択します。



Multi LABELIST V5

6. 変数名に条件変数を指定、判定内容で「条件式の判定結果が false(偽)」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

📴 印字条件設定	?	×
印字条件を指定してください。		
デ−タ 種類: 変数 ▼		
変数名: (ローカル)5桁以下		
条件 判定内容: 条件式の判定結果がFalse(偽)		•
ОК	キャンセノ	l

7. 同じ位置になるように調整します。

デザイン 入力定義 表形式	ום ל 🚰
	レイアウト
	基本設定
	プリンタ
	スキャン
	用紙:
	センサタ
	用紙サ
[°] - <u>????????</u>	縦:
	横:
	グローバ
	詳細設知
4	

以上でオブジェクトの作成は完了です。レイアウトに名前を付けて保存し、次の項目で、発行やプ レビュー画面を使い確認してみましょう。

4. 印字確認

先ほど作成したレイアウトファイルをMLプリントで起動します。 設定した条件どおりに印字されるか、実際に発行して確認を行って下さい。

商品名に「PW208」を入力して発行すると、 商品名が5文字以下の条件に合致し、フォントサイズが20で印字されます。

PW208

商品名に「CL4NX-J 08」を入力し発行すると、

商品名が5文字以下の条件に合致し、フォントサイズが10で印字されます。

CL4NX-J 08

以上で「<u>12:条件変数を使ってみよう</u>」は終了です。

13:GS1 DataMatrix を使ってみよう

1. GS1 DataMatrix とは

GS1 DataMatrix とは、AI(アプリケーション識別子)を使用して、決められた書式に従って作成したデータを DataMatrix で印字したシンボルです。

2. 結合変数の作成

GTIN、保証期限日、ロット No.を結合変数で作成しましょう。

データを入力する変数を作成します。
 以下の設定で各項目の入力変数を作成します。

ť											
追	♪ 11 加 編集	<mark>〕</mark> 挿入) 切り	る 取り	🖒 של–	に 貼り付け	業 削除	國 一括	検索: 変	変数名の一部を入力してく	くださし
	変数名			区分	}		桁数			詳細	
۲	🞜 GTIN			入力	J				14	入力種類:文字	
	🛺 保証期	期限日		入力	J				6	入力種類:文字	
	🛺 🛛 ୬ ԻՒ	No.		入力	J				20	入力種類:文字	

2. 結合変数で種類「固定」のデータ「O1」を入力します。

D	🦻 変数設定									
溪	変数の設定を行います。									
1										
	入力	子	項目選	訳 編集	E .					
	複写		No.	種類		データ		行数	属性	
	結合		1	固定	•	01		2	固定文字:01	
		-	*		•			•		
	連番									
	日時									
	計算									
	シンボル									
	22302									

3. 次項目で種類「変数」、データ「GTIN」を選択します。

📴 変数設定								
変数の設定を行います。								
入力 子項目選択 編集								
複写	No. 種類	Į	データ	桁数	属性			
結合	1 固元 2 玄影	<u> </u>	01 GTIN •	2	固定文字:01 変数種類·入力、入力種類·文字			
連番	*	•	- China - Chin					
日時								
計算								
シンポル								

4. 同様な方法で AI17 で「保証期限日」、AI10 で「ロット No.」を設定します。

D									
変	変数の設定を行います。								
	入力	子	項目選	訳 編集					
	複写		No.	種類		データ		桁数	属性
	<u>st</u> ح		1	固定	•	01		2	固定文字:01
			2	发致	Ŧ	GHN	•	14	変数種類:入力,入力種類:文字
	連番		3	固定	-	17		2	固定文字:17
	日時		4	変数	•	保証期限日	•	6	変数種類:入力,入力種類:文字
			5	固定	•	10		2	固定文字:10
	計算	I	6	亦数	•	ΠψΕΝο	•	20	変数種類:入力,入力種類:文字
	シンボル		*		-				

5. 「各項目の末尾のスペースを取除き桁数を減らす」を有効にし、変数名「GS1 DataMatrix」 を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

Dz 変	数設定									?	\times
変数の	変数の設定を行います。										
Г	入力	子	項目選	【 訳 編集							
	複写		No.	種類		データ	桁数	属性		追加(<u>A</u>)	
	红스		1	固定	•	01	2	固定文字:01	•		- 1
	πa μ'		2	変数	•	GTIN •	14	変数種類:入力,入力種類:文字		削除(<u>D</u>)	
	連番		3	固定	•	17	2	固定文字:17			
	日時		4	変数	•	保証期限日 ▼	6	変数種類:入力,入力種類:文字			
			5	固定	•	10	2	固定文字:10			
	計算	•	6	変数	٠	□ットNo. ▼	20	変数種類:入力,入力種類:文字			
	シンボル		*		•						
										上へ移動(U)	
										下小投新000	
									Ŧ		<u> </u>
✓ 各項目の末尾のスペースを取除き桁数を減らす(E)											
						10	- I				
		X		Uataivlatr	x				NJ£X:	40	·
										_	
									ОК	キャンセ	N

以上で変数作成は完了です。

次にオブジェクトに変数を設定して印字してみましょう。

■可変桁の末尾に FNC1 を設定する場合

可変桁の AI の後に別の AI を指定する場合は、データセパレータの FNC1 を指定する必要があります。結合変数で、種類「キャラクタ」を選択し、コード種類「シンボル」の一覧から「GS1 DataMatrix - FNC1」を選択することで FNC1 が利用可能です。

子項目選択編集					
No. 種類	データ	桁数 属性			
I 1 ++>>> ▼		0			
* •	💵 キャラクタ選択			?	×
	キャラクタの選択を行い 最初にコード種類を選択	ます。 して、一覧から設定するキャラクタを過	選択します。		
	コード種類: シンボル	▼ 載別子: ▲	一覧から識別子を	選択したときに入力します。	
	分類	キャラクタ	データ	補足	
	合成シンボル	FNC	#		~
	合成シンボル	区切り	1	1次元データと2次元データの区切り。	
	DataMatrix	~	7E,7E		
	GS1 DataMatrix	~	7E,7E		
	GS1 DataMatrix	ESC	1B.1B	エスケープ	
	GS1 DataMatrix	FNC1	1B,31		
	識別子	識別子(AI/DI)	(nnnn)	バーコードオブジェクトでは()が省略されます。	

3. オブジェクトの作成

シンボル変数を2次元コードオブジェクトに設定して、GS1 DataMatrix を印字しましよう。

1.2次元コードオブジェクトをデザイン画面に配置します。



2. プロパティウィンドウで種類「GS1 データマトリックス(ECC200)」を選択します。

督 วัดภั	<u>7</u> 1	'n				
2次元]-		3				
基本設定	*					
項目名:	2次元コード-1					
データー						
貼付	•					
0		Ξ				
∭[Ctrl	+Enter]キーで改行します。					
▼ 末尾のスペースを取り除く						
2次元]	ド設定					
種類:	QRコード(モデル2)					
_	PDF417					
詳細設定	マイクロPDF					
属性設E)-94F999X(ECC200)	٣				
種類	種類 GS1データマトリックス(ECC200)					
2次元]	2次元コーマ (モノルリ					
	QRコード(モデル2)					

3. プロパティウィンドウで詳細設定を開き、横と縦のセルサイズを「5」(dot)にします。

督 プロパティ		д				
2次元コード		3				
基本設定	*					
項目名: 2次元	コード-1					
データ						
貼付	•					
0						
※[Ctrl+Enter]	キーで改行します。	E				
▼ 末尾のスペー	スを取り除く					
2次元コード設定						
種類: GS1データマトリックス(ECC200) ・						
	•					
詳細設定	^					
横セルサイズ:	5 🗘 (dot)					
縦セルサイズ:	5 🗘 (dot)					
セル構成: 自動 🗸						
特殊設定						
属性設定	*					
(四字(云翠(෩෩)						

4. 結合変数をドラッグ&ドロップします。

			5 5	
🊰 ローカル変数一覧				
□ 前 ○ ↓ 追加 編集 挿入 切り	6 🖸 🖺 取り ユピー 貼り付け	🗱 😽 _{検索:} 🖉 削除 一括	変数名の一部を入力してください	(2)へルプ
変数名	区分	桁数	詳細	
<i>6</i>₽ GTIN	入力	14	入力種類:文字	
<i></i> 保証期限日	入力	6	入力種類:文字	
<i>G</i> ∏wbNo	አ ታ	20	λ力種類·文字	
GS1 DataMatrix	結合	46	指定文字削除:なし,	
▲ 固定文字	固定	2	固定又子:01	
GTIN	入力	14	入力種類:文字	
▲ 固定文字	固定	2	固定文字:17	
✓ 保証期限日	入力	6	入力種類:文字	
▲ 固定文字	固定	2	固定文字:10	
	入力	20	入力種類:文字	

Multi LABELIST V5

以上で2次元コードオブジェクトの作成は完了です。

最後に ML プリントでレイアウトを開き、GTIN、保証期限日、数量、ロット No.が格納された GS1 DataMatrix が印字されるか、実際に発行して確認を行って下さい。

GS1 の規格に従っているかは「GS1 Japan Scan」で簡易チェックすることが可能です。 http://www.dsri.jp/application/js1japanscan/

(例)GTIN「04993191000002」、保証期限日「201231」、ロット No.「A0123」を 入力した場合



以上で「<u>13:GS1 DataMatrix を使ってみよう</u>」は終了です。